

令和4年度
中学生・高校生意識調査結果報告書
2022

令和4年8月

澁川市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 調査票の配布・回収状況	1
4 グラフ中の表記.....	1
II 調査結果	3
1 回答者の属性について	3
(1)性別	3
(2)中学生・高校生別.....	3
(3)居住地区	4
(4)居住年数(市内在住者のみ)	5
(5)将来の渋川市への居留意向	6
2 市の現状の評価について	8
問1 市の取組の満足度・重要度	8
3 選挙について.....	22
問2 選挙への関わり	22
問3 投票意向	23
問4 投票に行かない理由.....	24
4 インターネット利用状況について	25
問5 インターネットを利用している情報通信機器.....	25
5 デジタル技術の活用について	26
問6 マイナンバーカードでできると良いこと	26
問7 市に力を入れてほしいデジタル化の取り組み	27
6 食品ロスについて.....	28
問8 食品ロス問題の認知度.....	28
7 ヤングケアラーについて	29
問9 ヤングケアラーの認知度	29
問10 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか.....	30
8 観光について.....	31
問11 観光地・観光施設に望むデジタル化.....	31

9 都市計画について	33
問12 公園の主な利用目的	33
問13 中村緑地公園で利用したい施設	34
問14 中村緑地公園で利用したいスポーツ施設	35
問15 渋川市の好きな景観	36
問16 渋川市の景観を損ねていると思うこと.....	37
問17 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと	38
資料	41
中学生・高校生別満足度・重要度(加重平均値).....	41
調査票.....	43

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、中学生及び高校生の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするために実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内の中学校に通う第2学年の生徒
市内の高等学校に通う第2学年の生徒
渋川特別支援学校高等部の生徒
- ③ 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- ④ 調査時期 令和4(2022)年5月26日～6月17日
- ⑤ 配布回収方法 各学校において直接配布、直接回収

3 調査票の配布・回収状況

- ① 配布数 1,500通(中学校660通・高等学校840通)
- ② 回収数 1,231通(中学校545通・高等学校686通)
- ③ 回収率 82.1%(中学校82.6%・高等学校81.7%)

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数をnで表記しています。
- ② 数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 市の取組の満足度・重要度(問1)の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0.0点を境として、2点に近いほど評価が高く、-2点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
オ	不満	重要ではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 本文中の「R2年度」「R元年度」「H30年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「令和2年度」「令和元年度」「平成30年度」と示します。

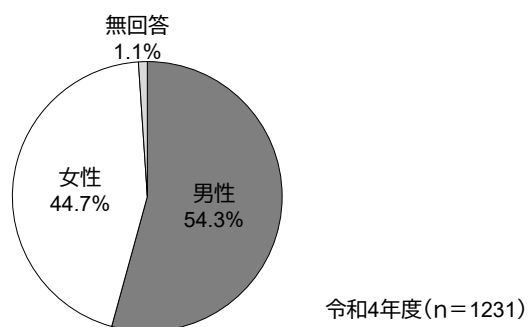
R2年度	中学生・高校生意識調査 令和2(2020)年10～11月実施 配布1,398通・回収1,306通(回収率93.4%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒)
R元年度	中学生・高校生意識調査 令和元(2020)年5～6月実施 配布1,361通・回収1,282通(回収率94.2%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒)
H30調査	中学生・高校生意識調査 平成30(2018)年5～6月実施 配布1,458通・回収1,348通(回収率92.5%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒)

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

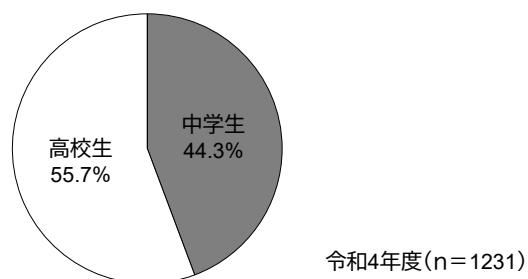
(1) 性別

男性（54.3%）が5割以上、女性（44.7%）が4割以上となっています。



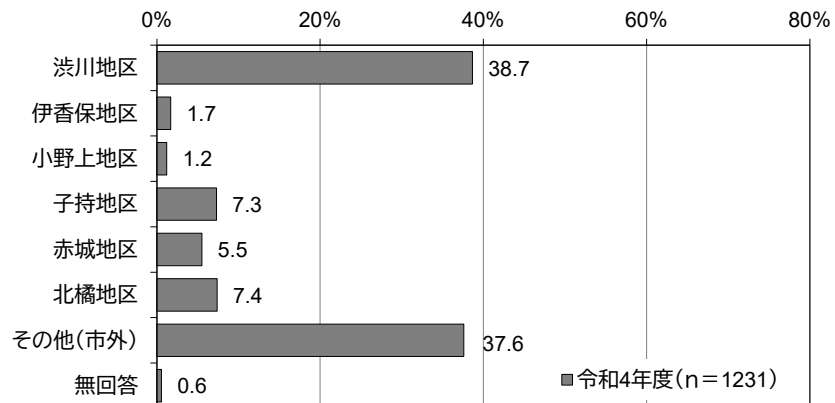
(2) 中学生・高校生別

中学生（44.3%）が4割以上、高校生（55.7%）が5割以上となっています。



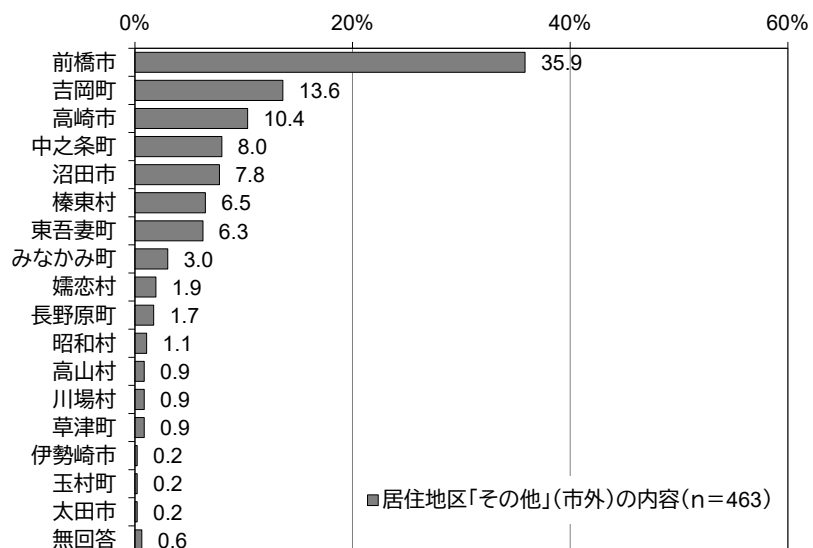
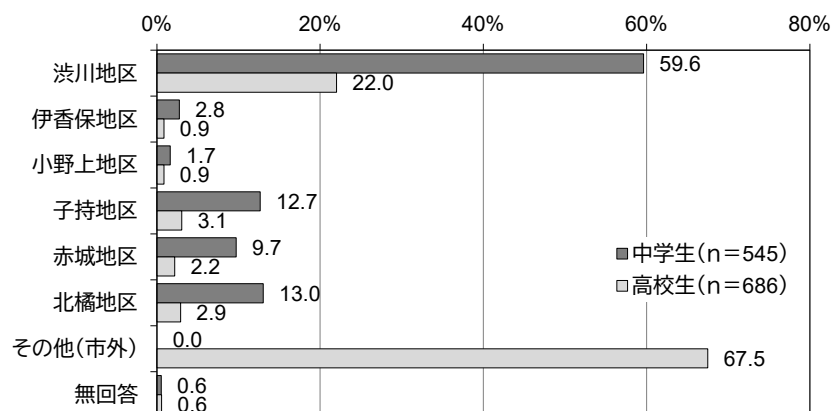
(3) 居住地区

渋川市内では、渋川地区（38.7%）が約4割で最も高く、次いでその他（市外）（37.6%）が約4割、北橋地区（7.4%）、子持地区（7.3%）が約1割となっています。



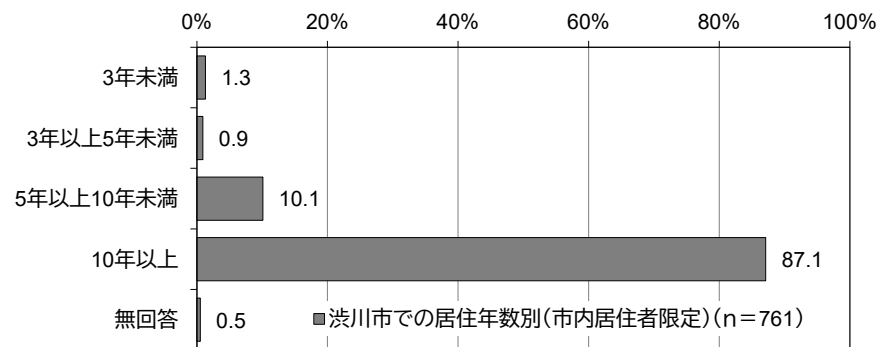
中学生は渋川地区（59.6%）が約6割、高校生はその他（市外）（67.5%）が約7割でそれぞれ最も高くなっています。

高校生で特に高いその他（市外）の内訳は、前橋市（35.9%）が3割以上で最も高く、次いで吉岡町（13.6%）、高崎市（10.4%）、がそれぞれ1割以上となっています。



(4) 居住年数（市内在住者のみ）

10年以上（87.1%）が約9割で特に高くなっています。

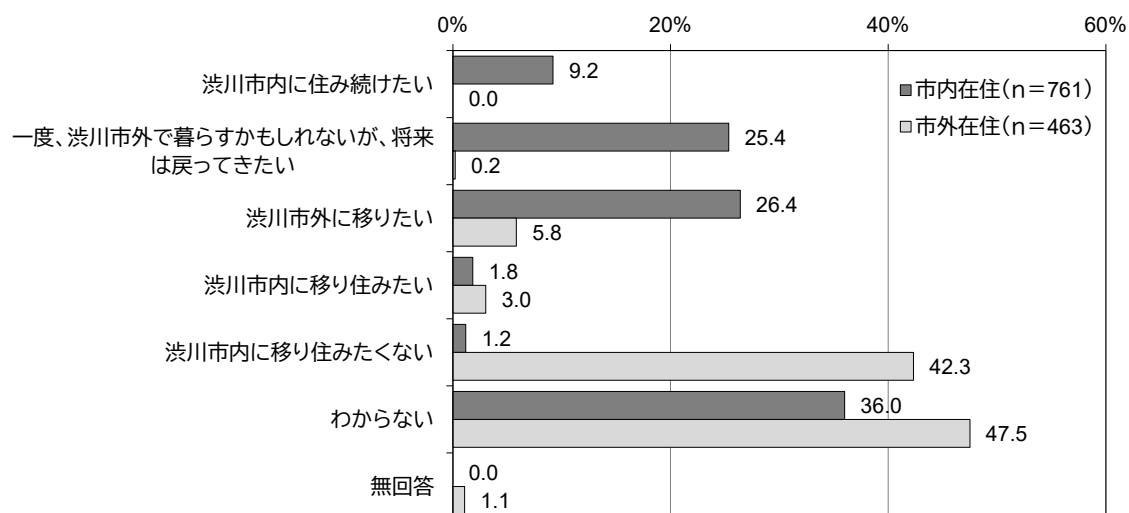
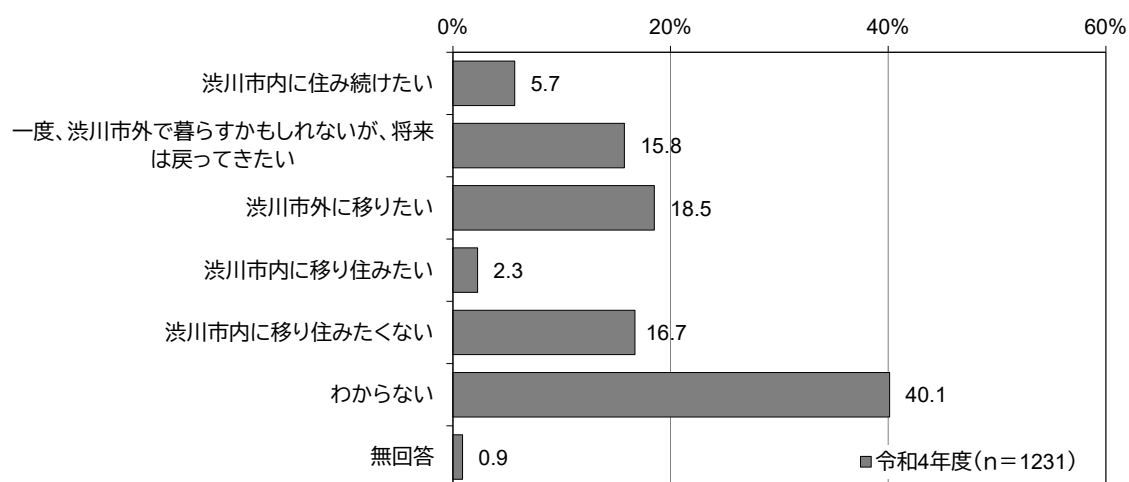


(5) 将来の渋川市への居留意向

「わからない」(40.1%)が4割以上で最も高くなっています。

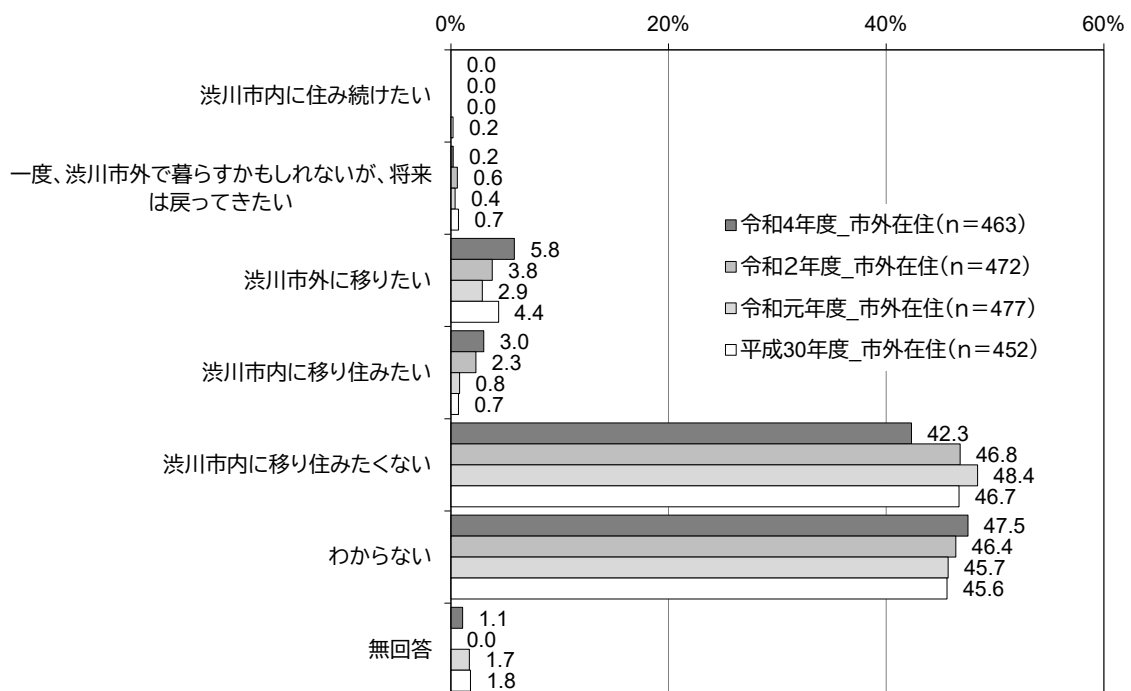
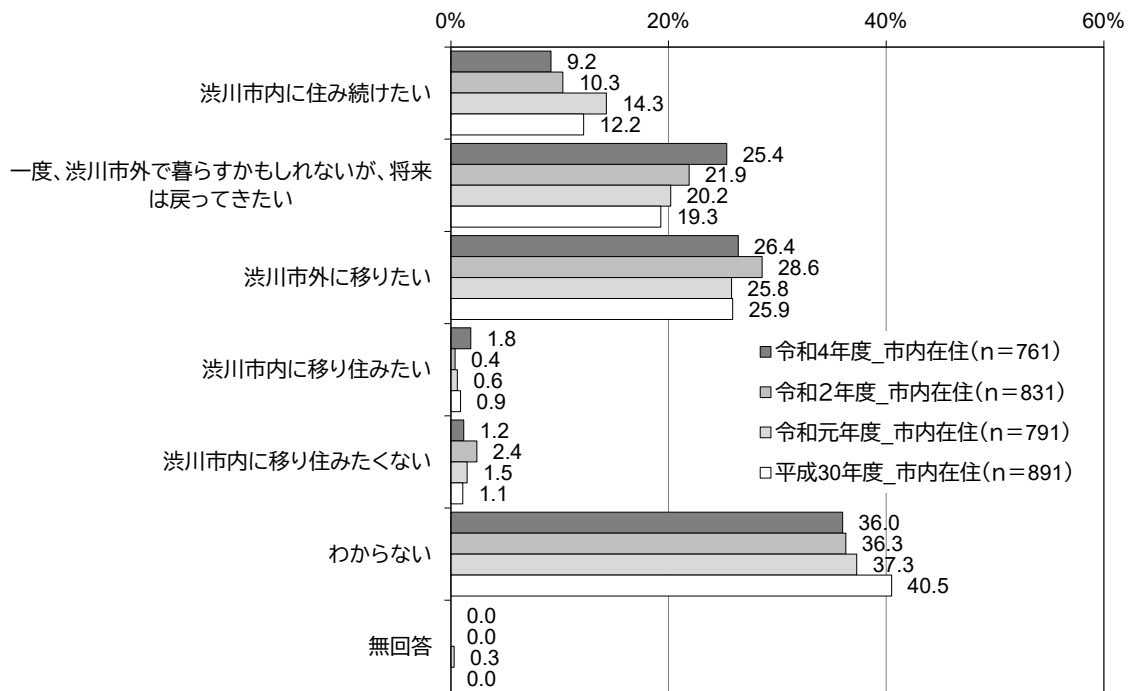
市内在住者と市外在住者を見ると、市内在住者は、「わからない」(36.0%)が3割以上で最も高く、次いで「渋川市外に移りたい」(26.4%)、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」(25.4%)の2項目が2割以上となっています。

市外在住者は、「わからない」(47.5%)が約5割で最も高く、次いで「渋川市内に移り住みたくない」(42.3%)が4割以上となっています。



市内在住者、市外在住者それぞれについて、前回までの調査結果と比較すると、いずれも大きな変化は見られませんが、市内在住者では「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」が高くなる一方、「わからない」が低くなる傾向がうかがえます。

一方、市外在住者では「渋川市内に移り住みたい」「わからない」が高くなる傾向がうかがえます。また、「渋川市内に移り住みたくない」はR2年度までよりも若干低くなっています。



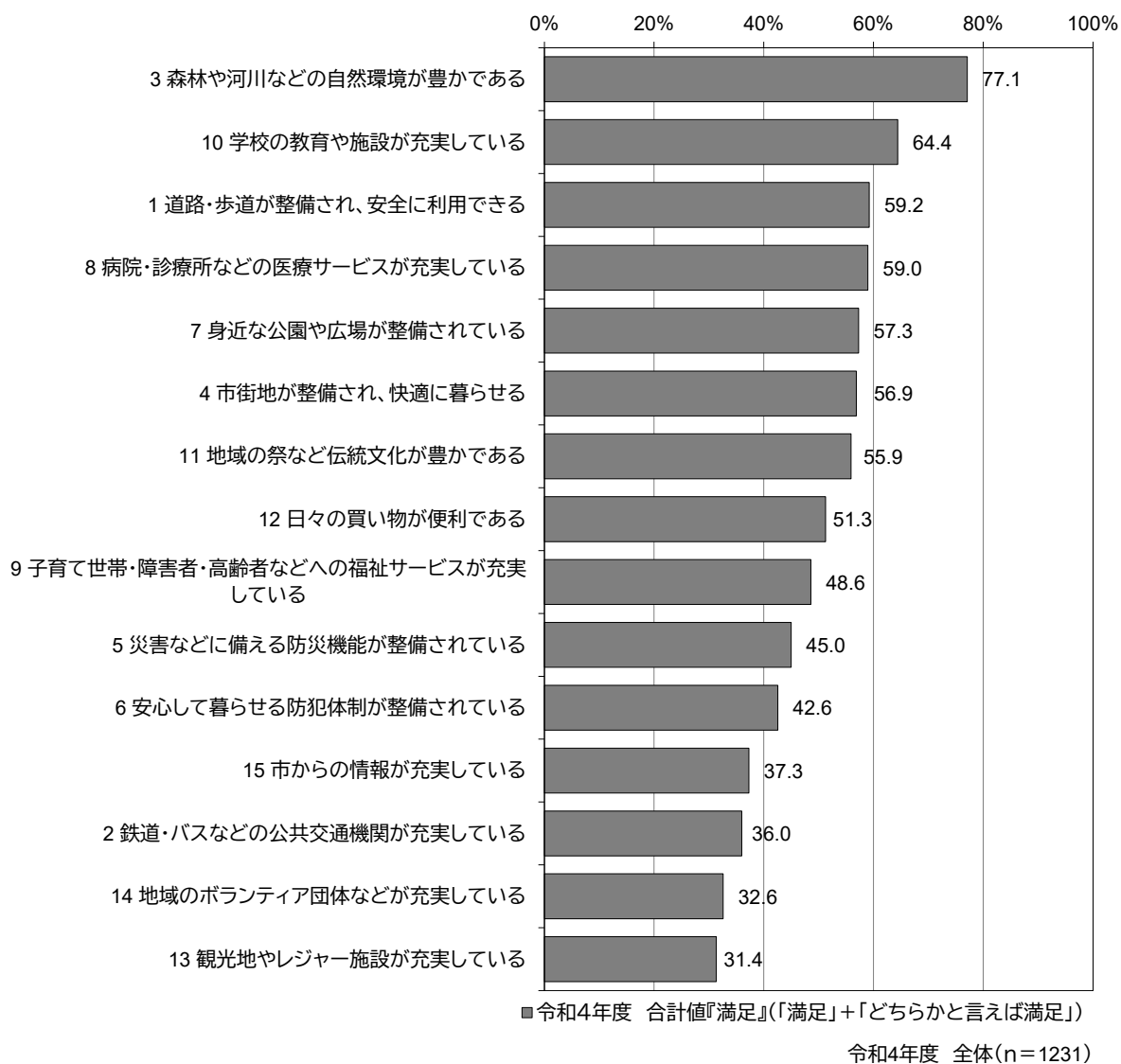
2 市の現状の評価について

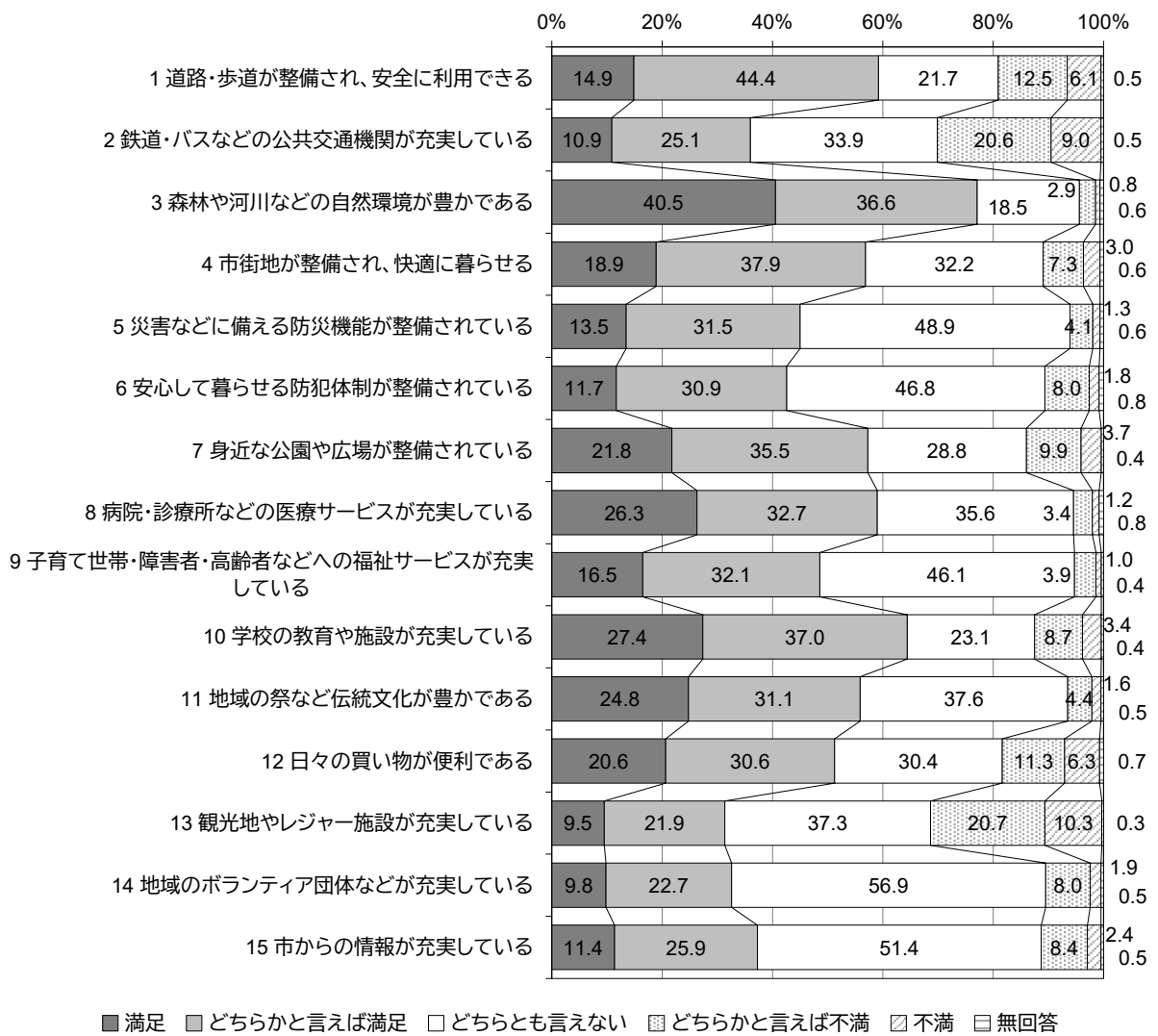
問1 市の取組の満足度・重要度

あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。(各項目の「満足度」「重要度」を5段階評価・1つずつ選択)

(1) 満足度

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(77.1%)が約8割で最も高く、次いで「10 学校の教育や施設が充実している」(64.4%)が6割以上となっています。

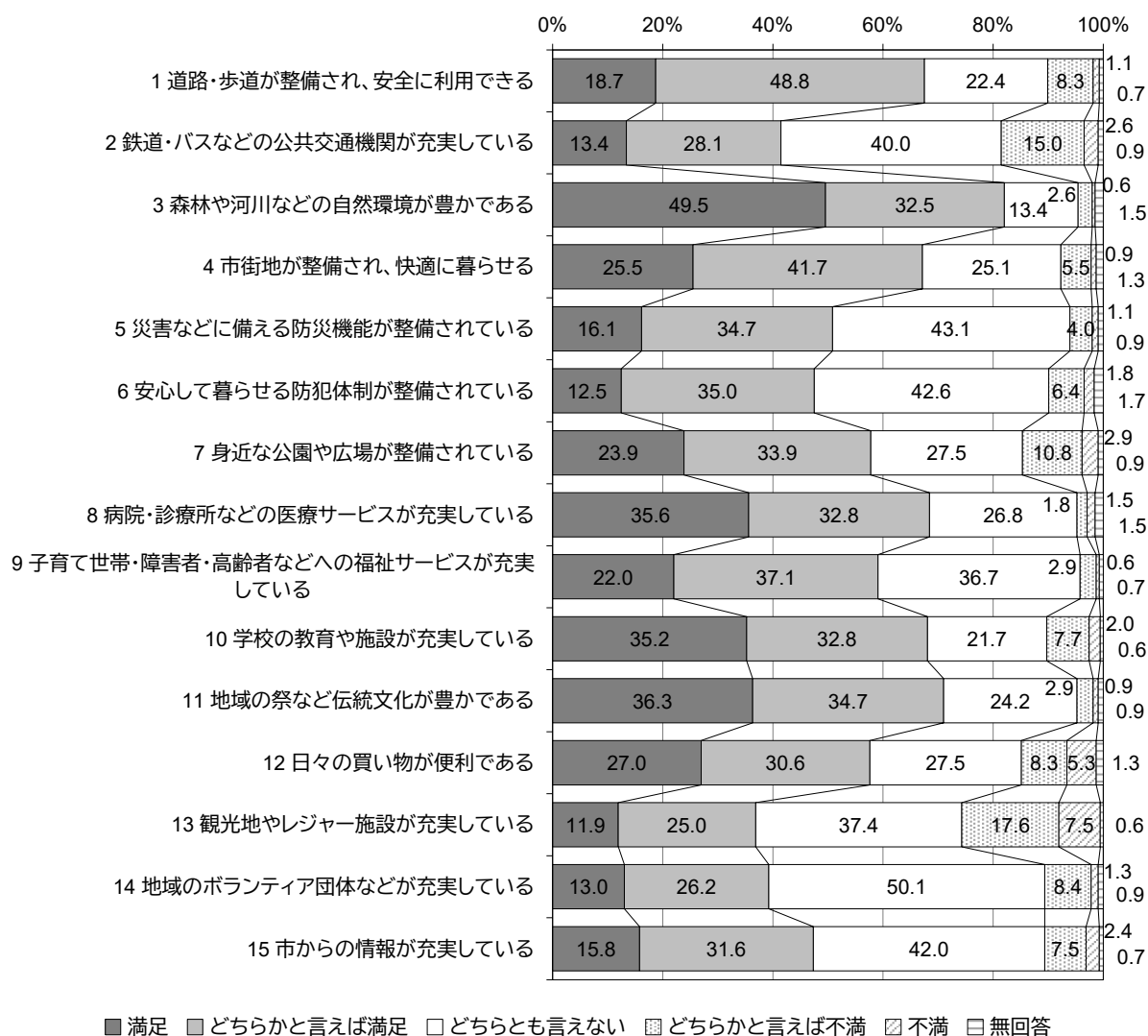




令和4年度 全体(n=1231)

【中学生・満足度】

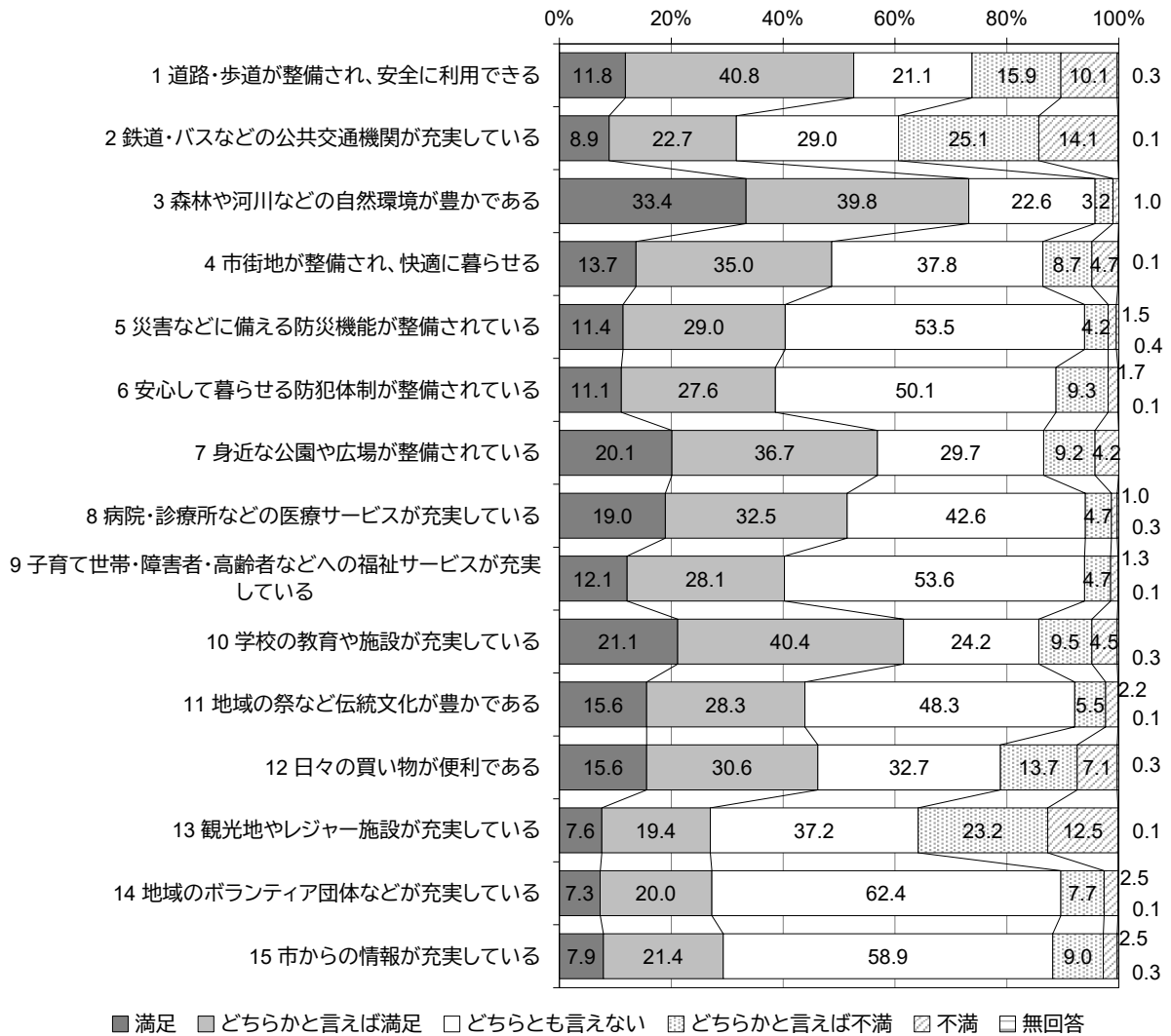
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(82.0%)が8割以上で最も高くなっています。次いで「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」(71.0%)が7割以上となっています。



令和4年度 中学生(n=545)

【高校生・満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(73.2%) が7割以上で最も高く、次いで「10 学校の教育や施設が充実している」(61.5%) が6割以上となっています。

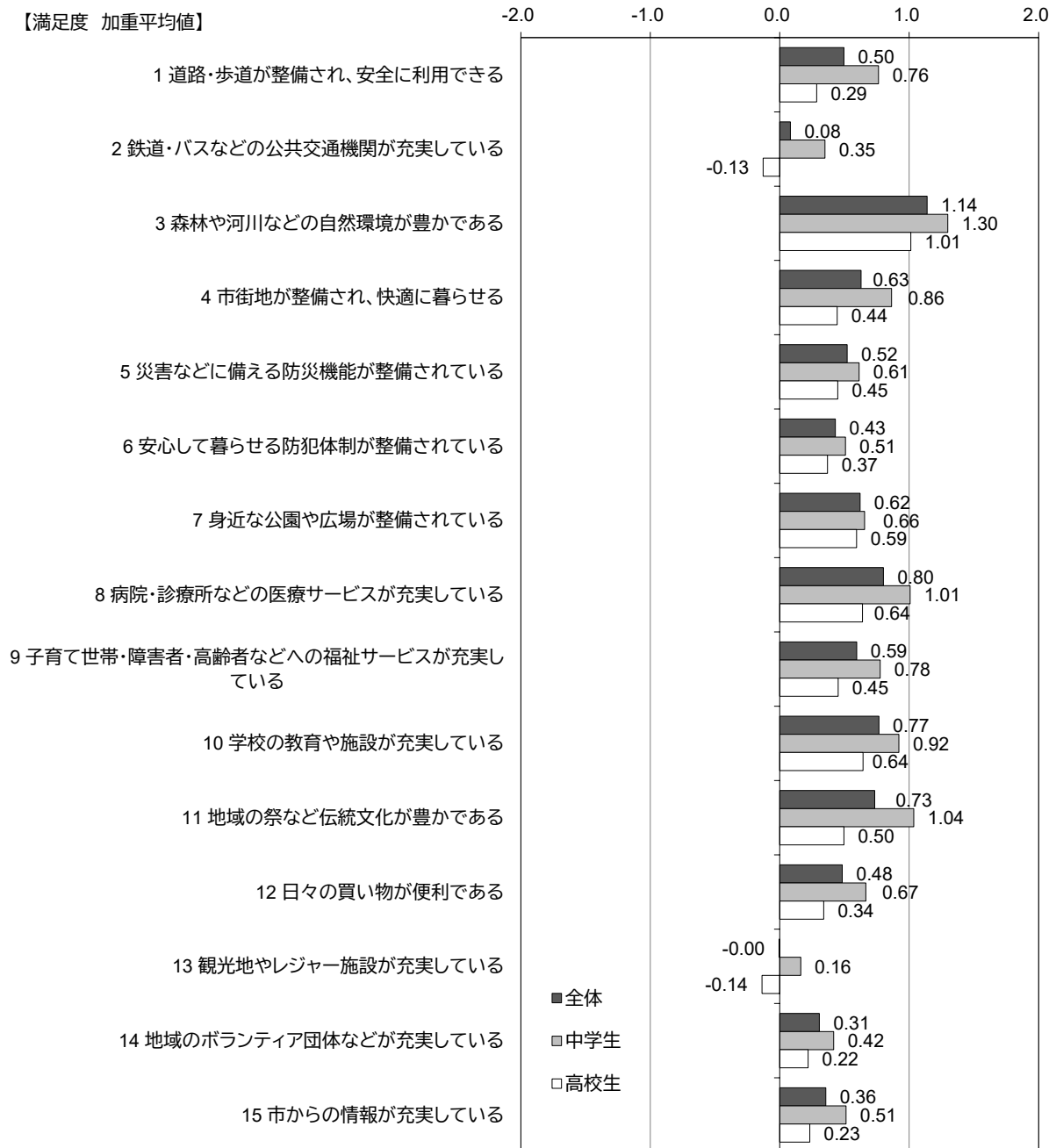


令和4年度 高校生(n=686)

【加重平均値・満足度】

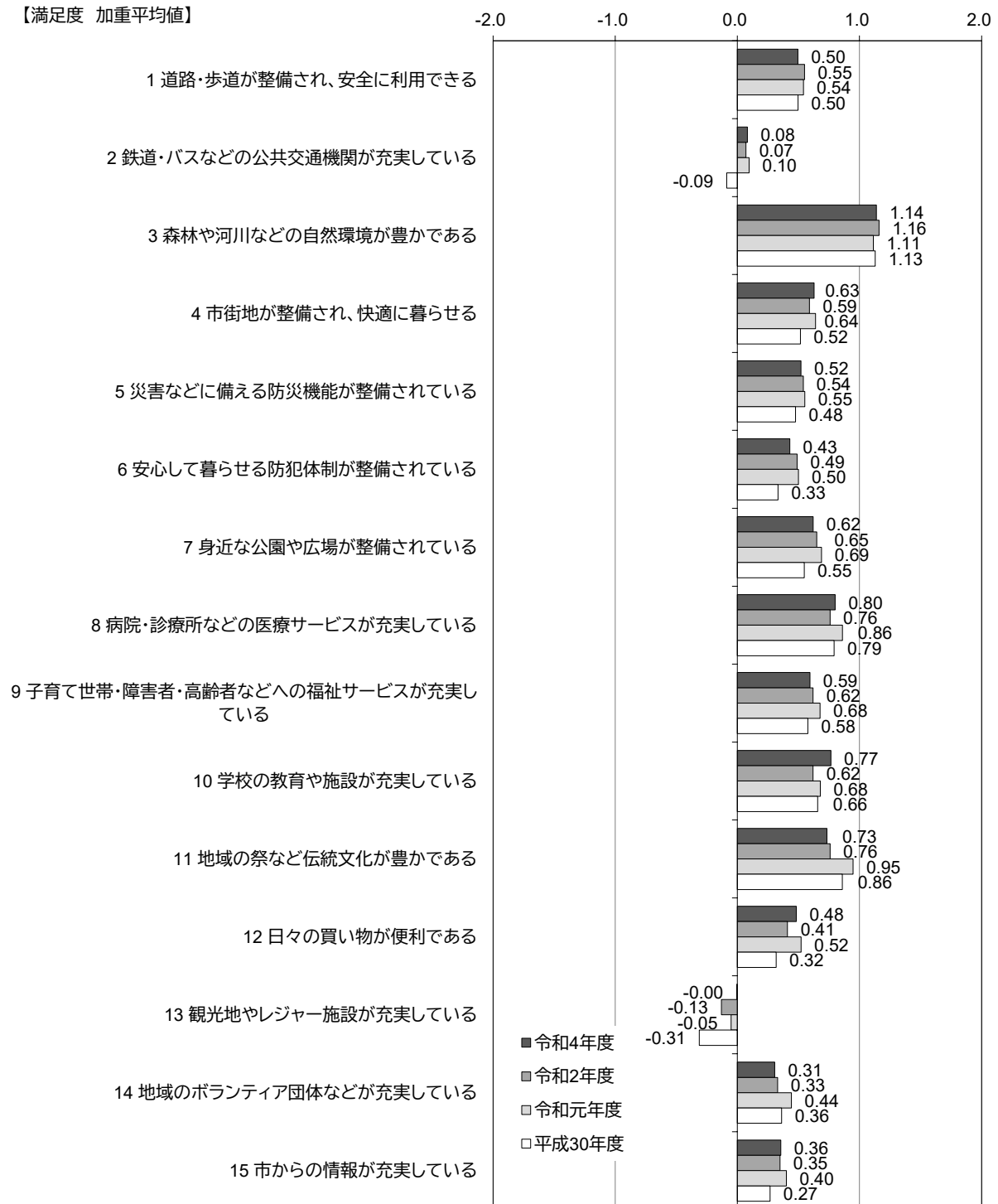
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれもほとんどの項目がプラス値となっており、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（全体 1.14 ポイント、中学生 1.30 ポイント、高校生 1.01 ポイント）が最も高くなっています。

一方、全体、中学生、高校生のいずれも「13 観光地やレジャー施設が充実している」（全体 -0.00 ポイント、中学生 0.16 ポイント、高校生 -0.14 ポイント）が最も低く、全体、高校生ではマイナス値となっています。また、高校生は「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（-0.13 ポイント）もマイナス値となっています。



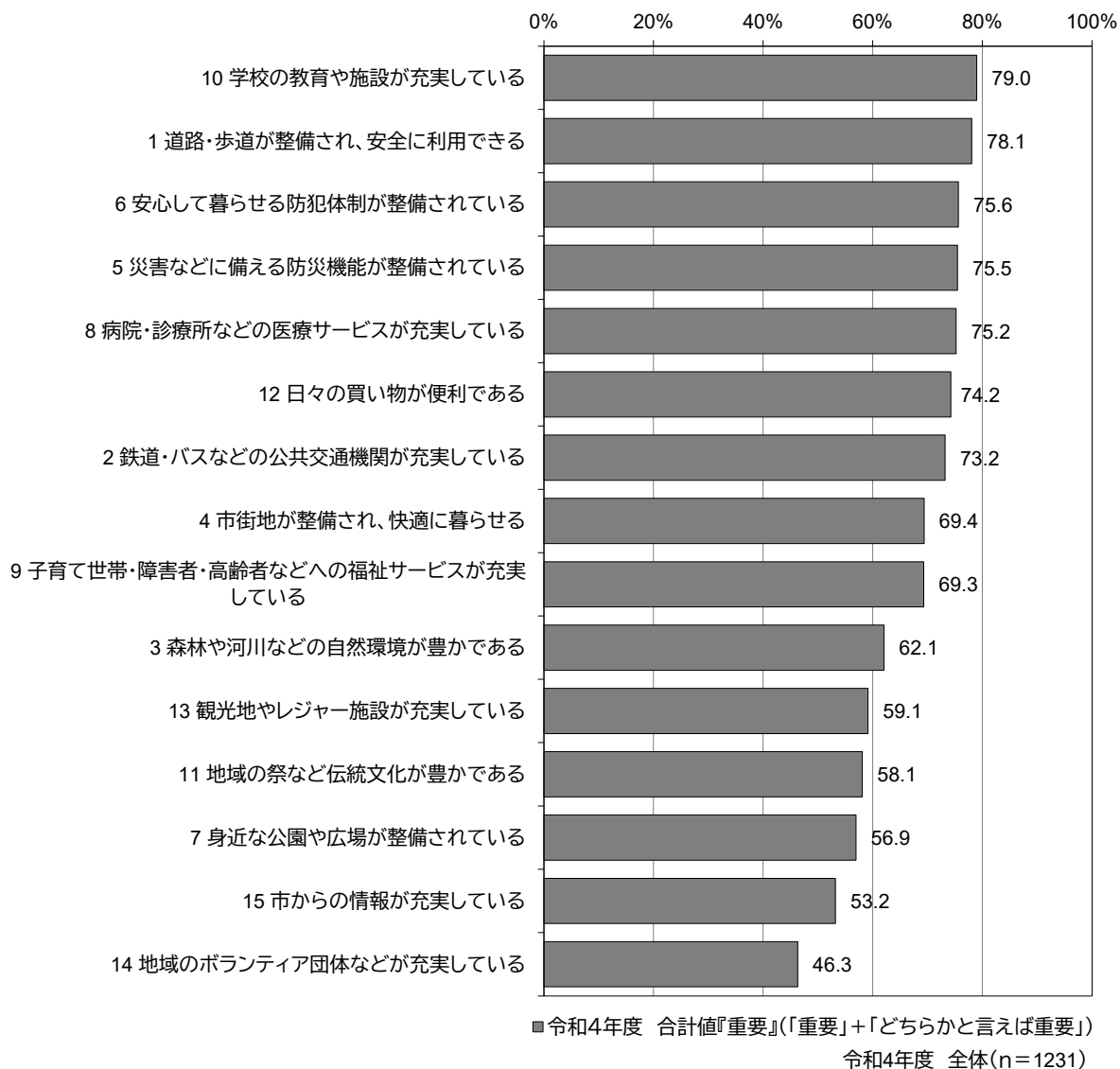
【加重平均値・全体・満足度の経年変化】

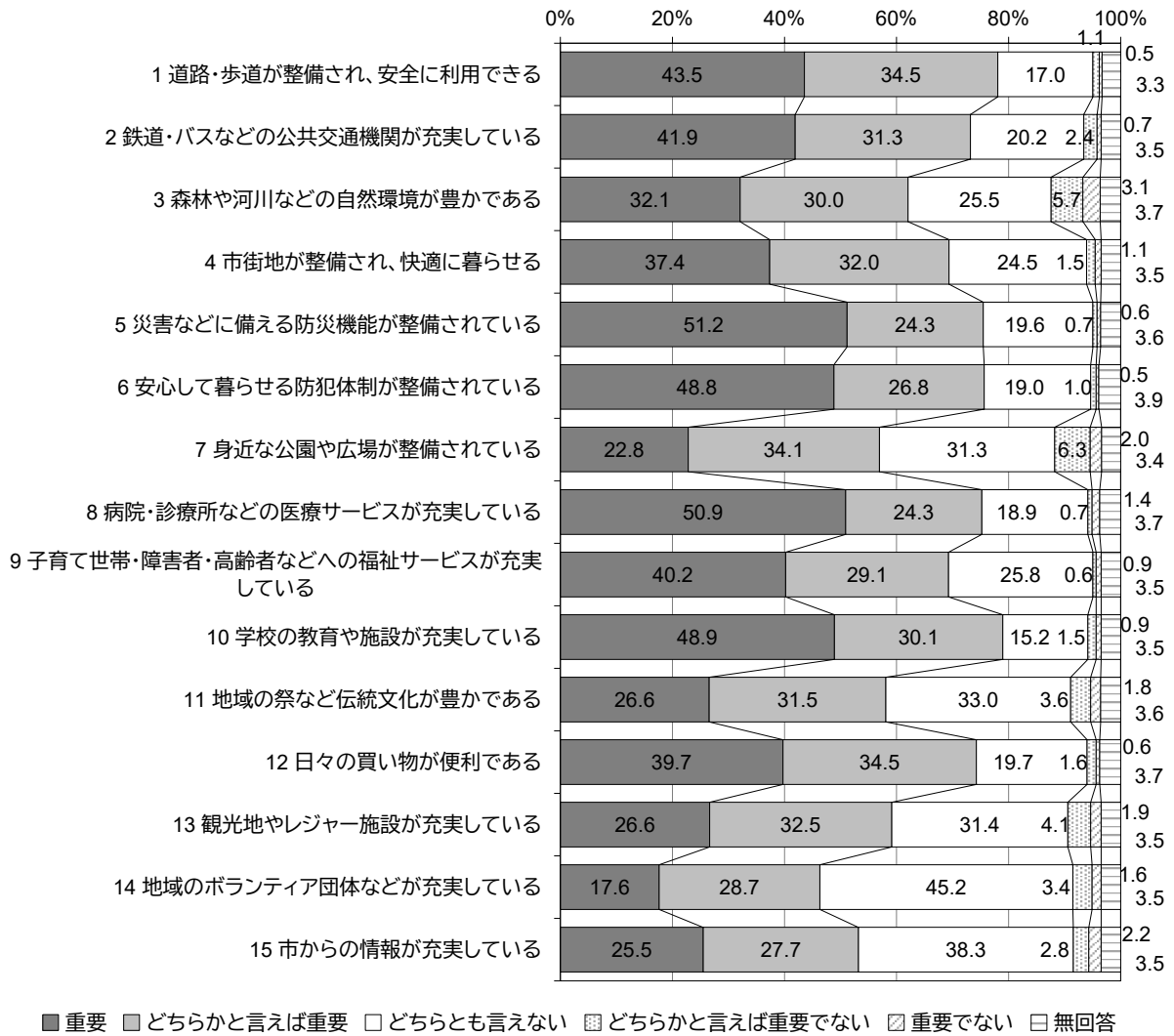
加重平均値を見ると、ほとんどの項目が前回までと同程度となっており、大きな変化は見られません。



(2) 重要度

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「10 学校の教育や施設が充実している」(79.0%)、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(78.1%)が約8割で同程度に高く、次いで「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」(75.6%)、「5 災害などに備える防災体制が整備されている」(75.5%)、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(75.2%)、「12 日々の買い物が便利である」(74.2%)、「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」(73.2%)の5項目が7割以上となっています。

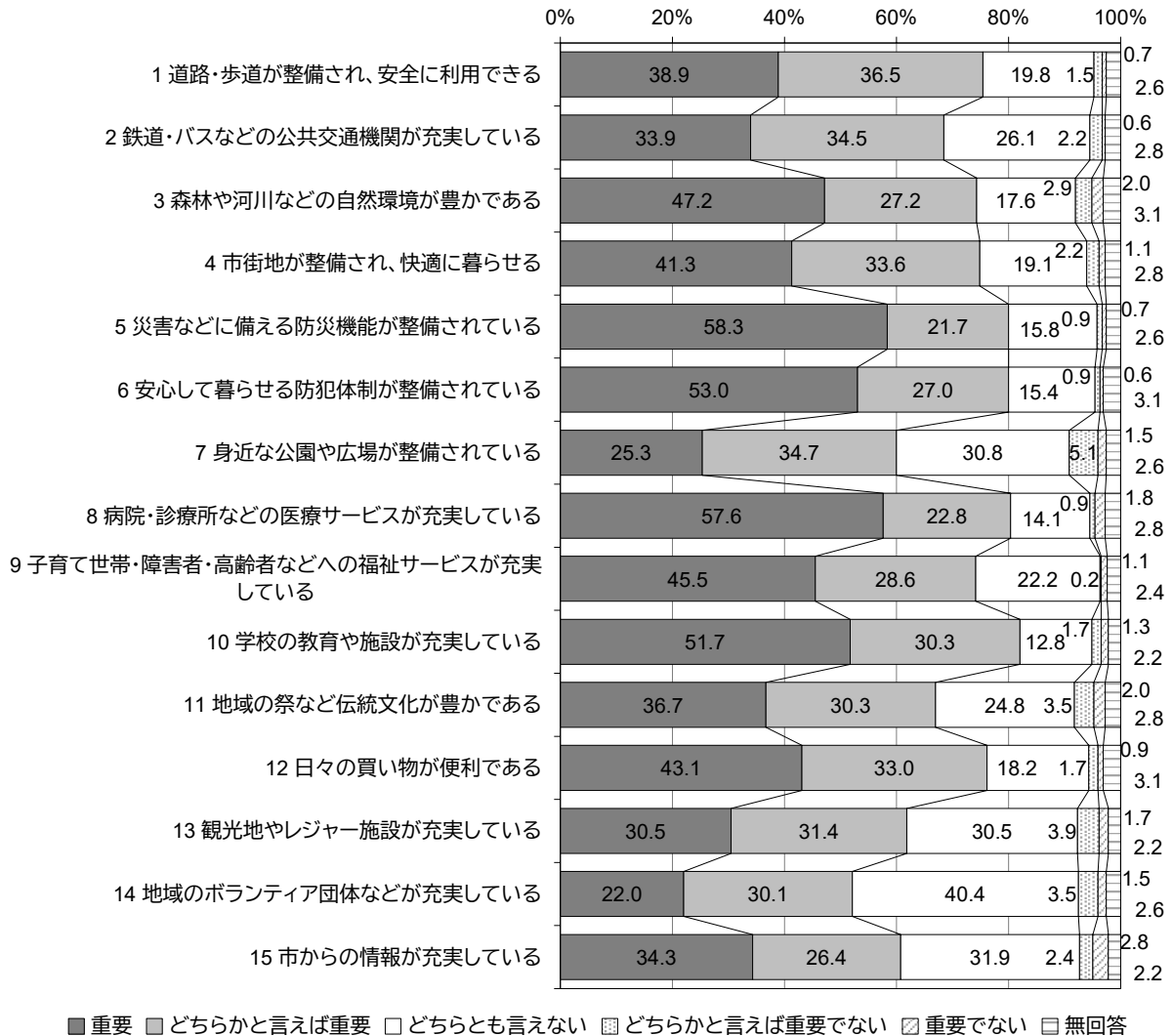




令和4年度 全体(n=1231)

【中学生・重要度】

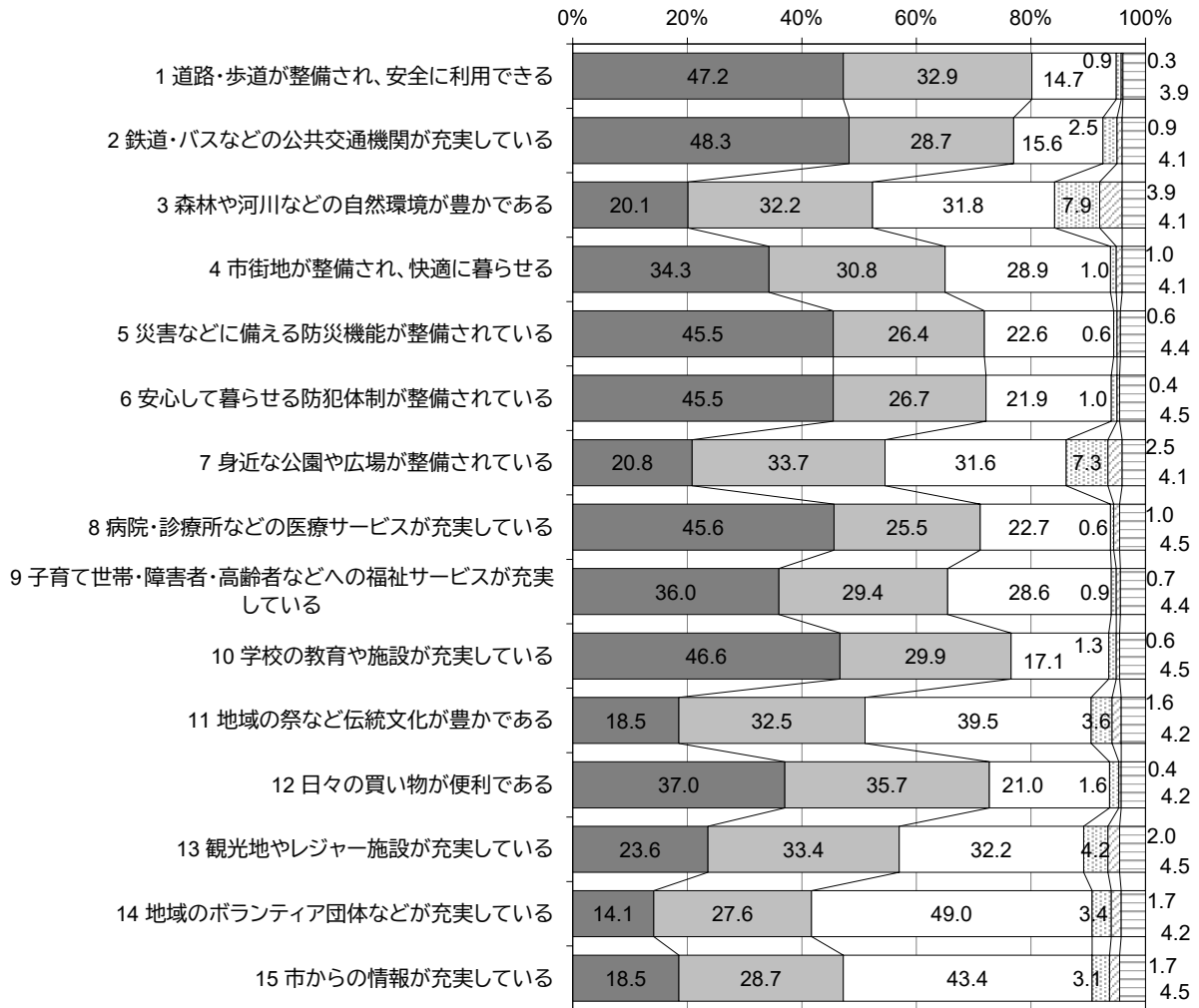
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「10 学校の教育や施設が充実している」(82.0%)、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(80.4%)、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」(80.0%で同値)の4項目が8割以上で同程度に高くなっています。



令和4年度 中学生(n=545)

【高校生・重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(80.1%)が8割以上で最も高く、次いで「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」(77.0%)、「10 学校の教育や施設が充実している」(76.5%)が約8割となっています。



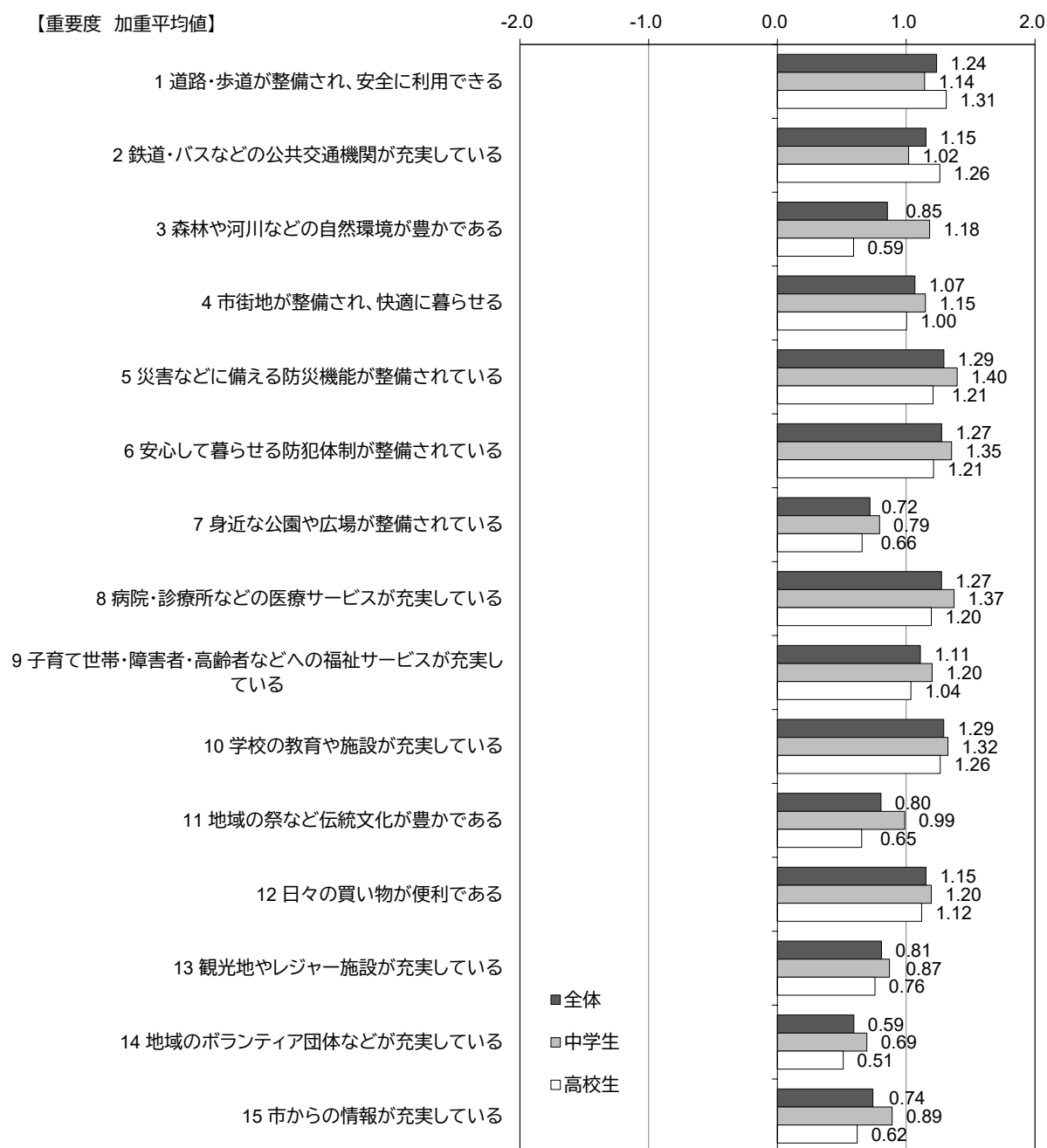
■ 重要 ■ どちらかと言えば重要 □ どちらとも言えない ▨ どちらかと言えば重要でない ▩ 重要でない □ 無回答

令和4年度 高校生(n=686)

【加重平均値・重要度】

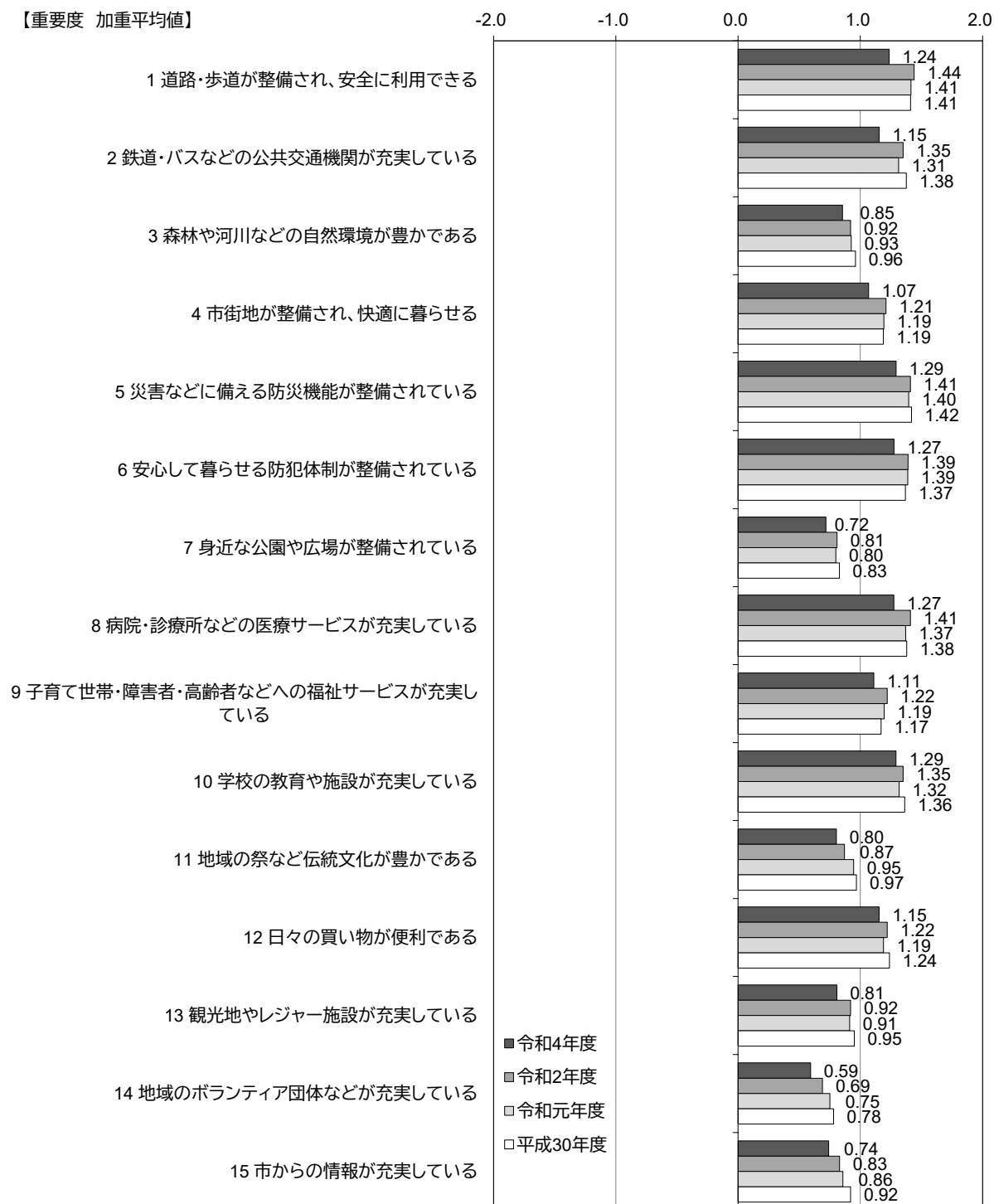
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれもすべての項目がプラス値となっています。全体は、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」「10 学校の教育や施設が充実している」（同値で 1.29 ポイント）、中学生は「5 災害などに備える防災機能が整備されている」（1.40 ポイント）、高校生は「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（1.31 ポイント）が最も高くなっています。

一方、全体、中学生、高校生のいずれも「14 地域のボランティア団体などが充実している」（全体 0.59 ポイント、中学生 0.69 ポイント、高校生 0.51 ポイント）が最も低くなっています。



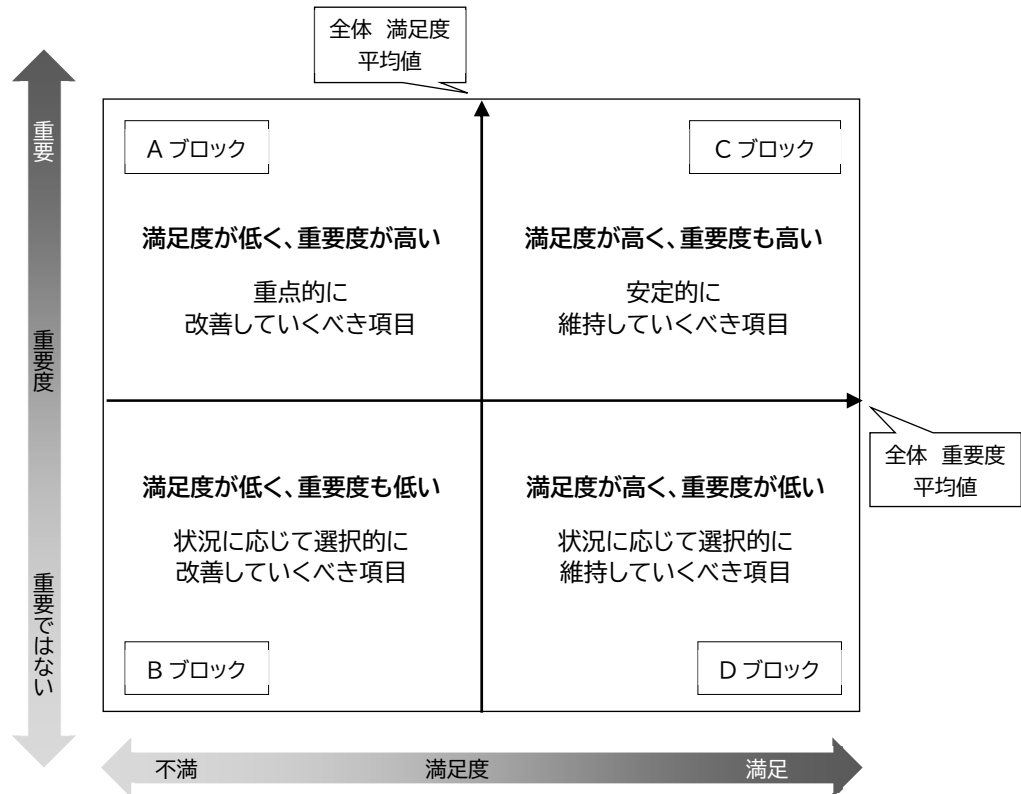
【加重平均値・全体・重要度の経年変化】

加重平均値を見ると、大きな変化は見られませんが、すべての項目が前回より低くなっています。また、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」「14 地域のボランティア団体などが充実している」「15 市からの情報が充実している」の4項目は重要度が若干低くなる傾向がうかがえます。



(3) 15項目の満足度と重要度の関係・経年変化

15項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



Aブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

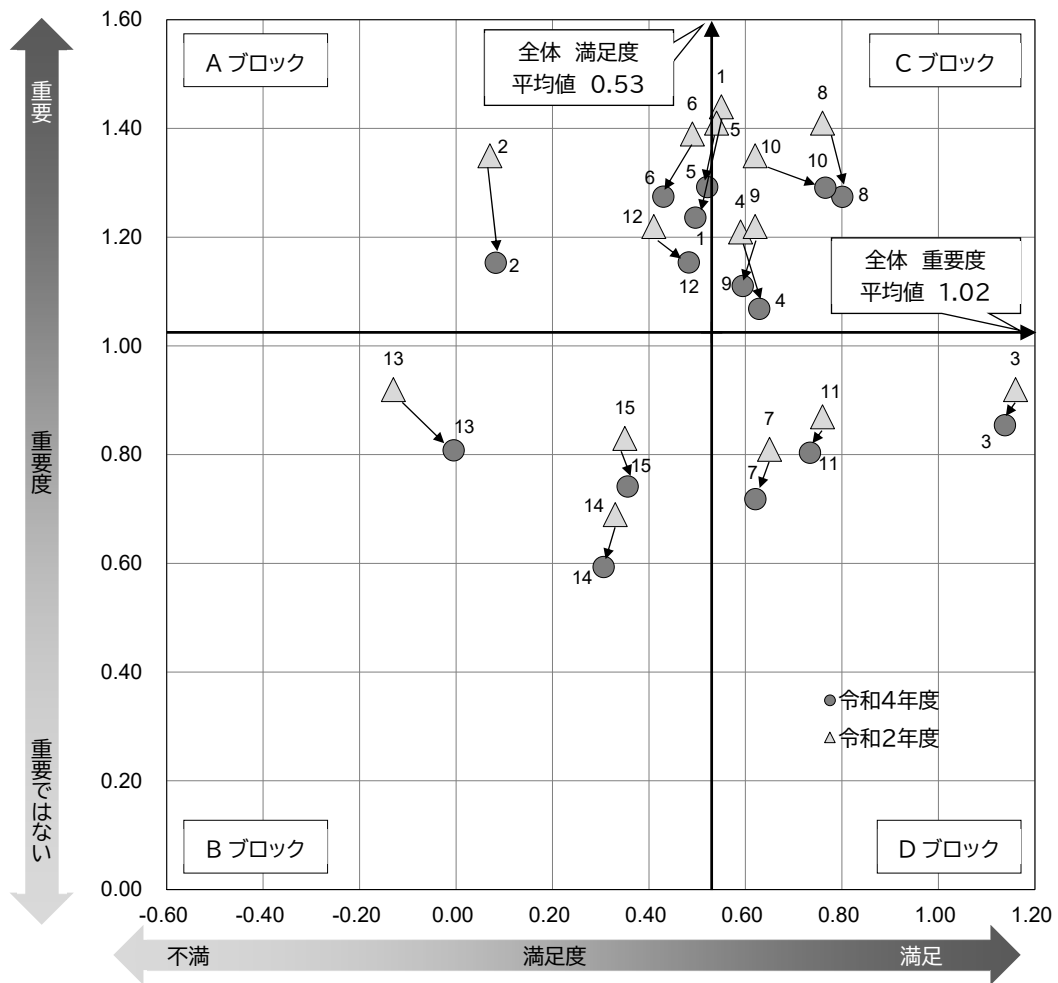
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Dブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

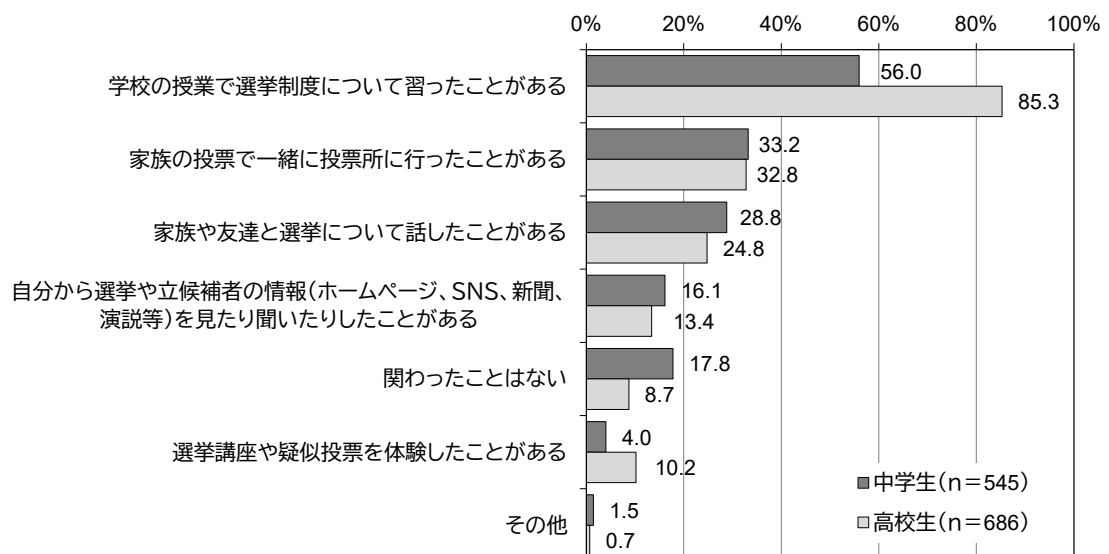
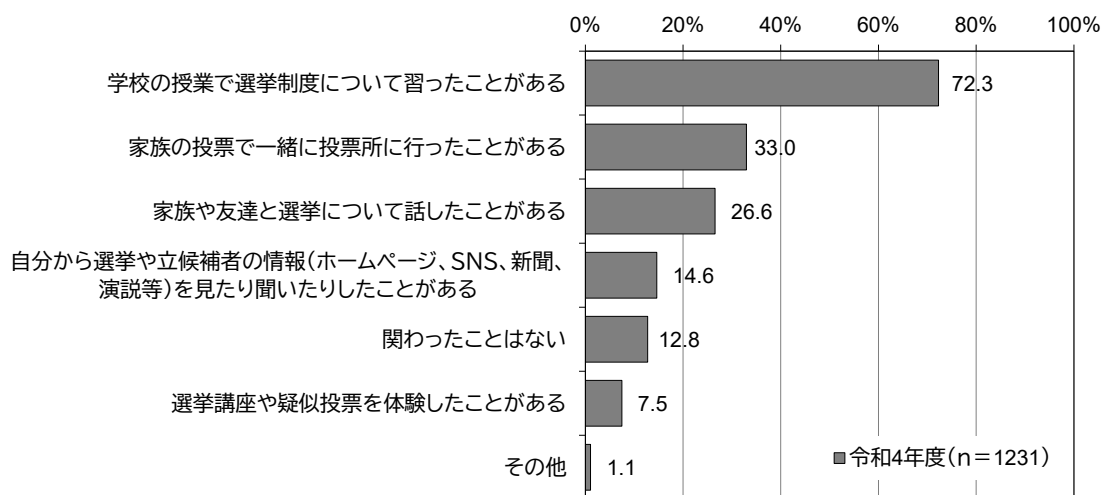
3 選挙について

問2 選挙への関わり

あなたは、選挙（制度、投票、実際の選挙）に関して、今までにどのようなことに関わったことがありますか。（全て選択）

「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」（72.3%）が7割以上で最も高く、次いで「家族の投票で一緒に投票所に行ったことがある」（33.0%）が3割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」（中学生 56.0%、高校生 85.3%）が最も高く、中学生は5割以上、高校生は8割以上で、高校生は特に高くなっています。次いで、中学生、高校生のいずれも「家族の投票で一緒に投票所に行ったことがある」（中学生 33.2%、高校生 32.8%）が3割以上となっています。

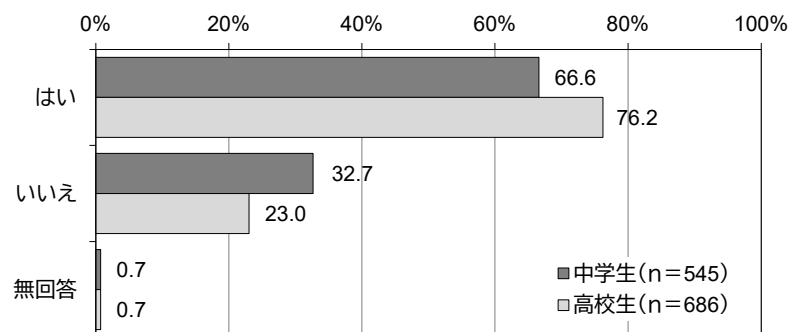
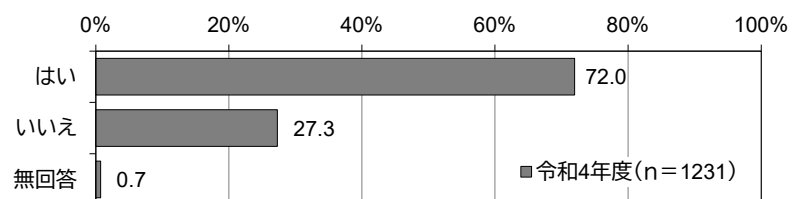


問3 投票意向

あなたは、18歳になったら選挙で投票に行こうと思いますか。(1つ選択)

「はい」(72.0%)が7割以上、「いいえ」(27.3%)が約3割となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「はい」(中学生66.6%、高校生76.2%)が最も高く、中学生は約7割、高校生は約8割となっています。一方、「いいえ」(中学生32.7%、高校生23.0%)が中学生は3割以上、高校生は2割以上となっています。

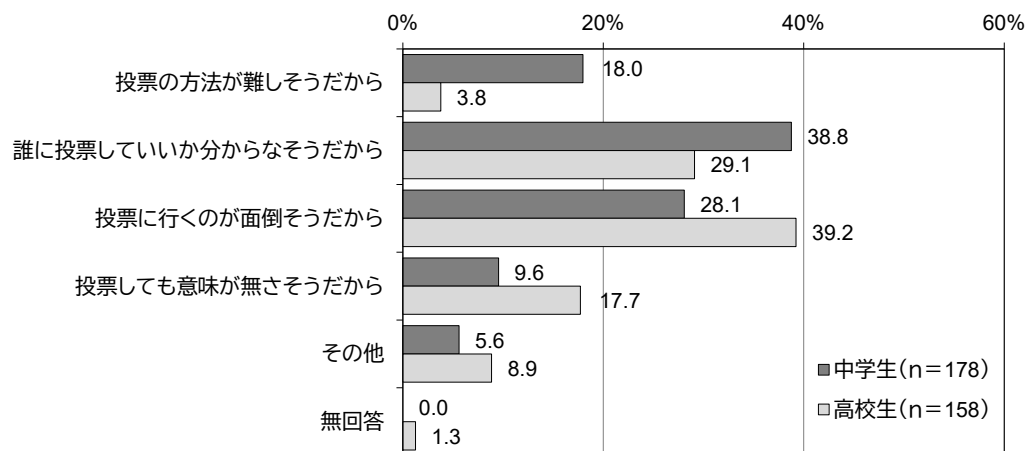
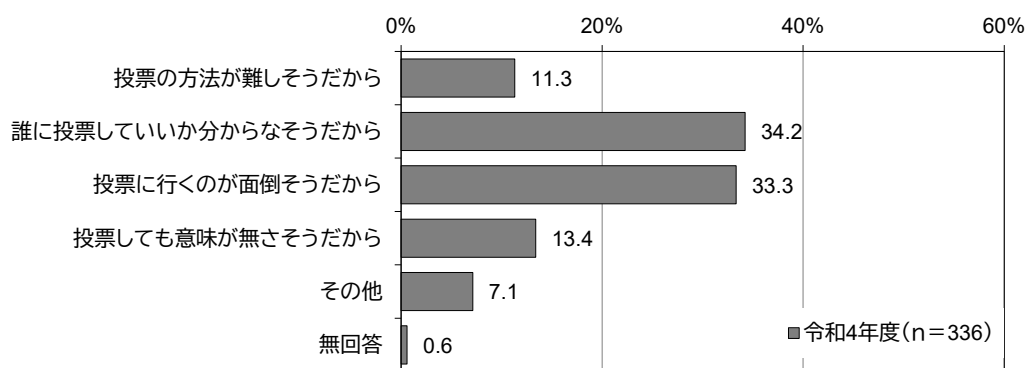


問4 投票に行かない理由

あなたが投票に行かないと思っている主な理由は何ですか。(1つ選択・「問3 投票意向」で、「いいえ」を選択した場合)

「誰に投票していいか分からなそうだから」(34.2%)、「投票に行くのが面倒そうだから」(33.3%)が3割以上で同程度に高く、次いで「投票しても意味が無さそうだから」(13.4%)、「投票の方法が難しそうだから」(11.3%)が1割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「誰に投票していいか分からなそうだから」(38.8%)、高校生は「投票に行くのが面倒そうだから」(39.2%)が約4割で最も高くなっています。



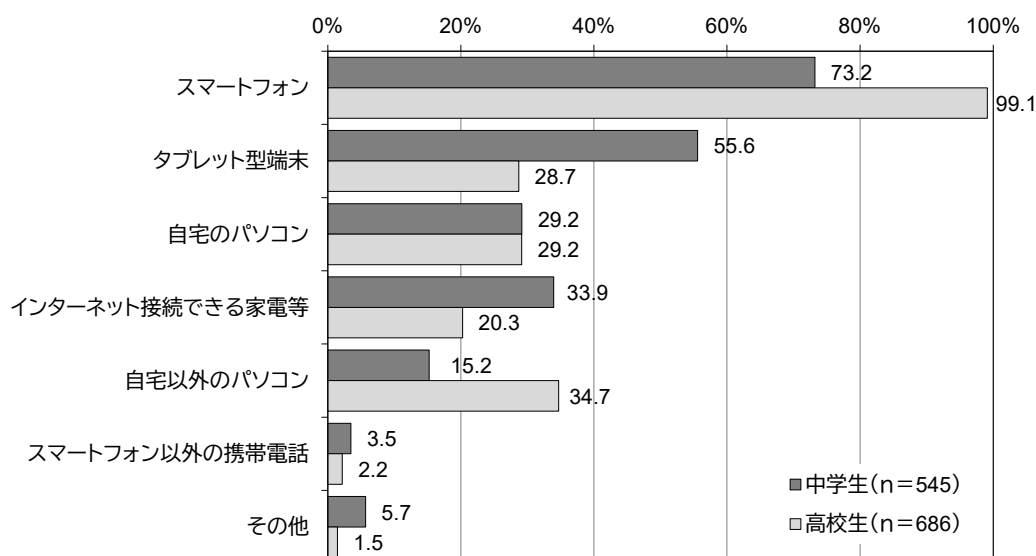
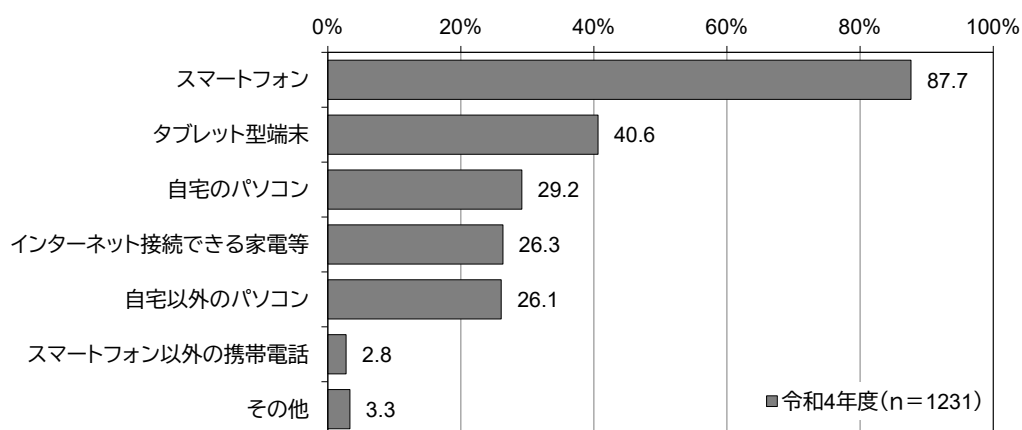
4 インターネット利用状況について

問5 インターネットを利用している情報通信機器

あなたは、どのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか。
(全て選択)

「スマートフォン」(87.7%)が約9割で特に高く、次いで「タブレット型端末」(40.6%)が4割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「スマートフォン」(中学生73.2%、高校生99.1%)が最も高く、中学生は7割以上、高校生はほぼ全員となっています。次いで中学生は「タブレット型端末」(55.6%)が5割以上、高校生は「自宅以外のパソコン」(34.7%)が3割以上となっています。



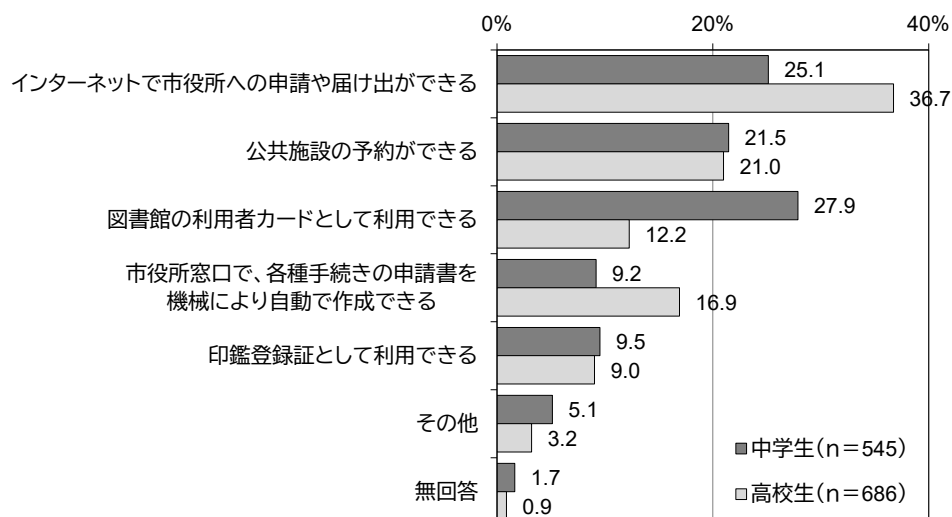
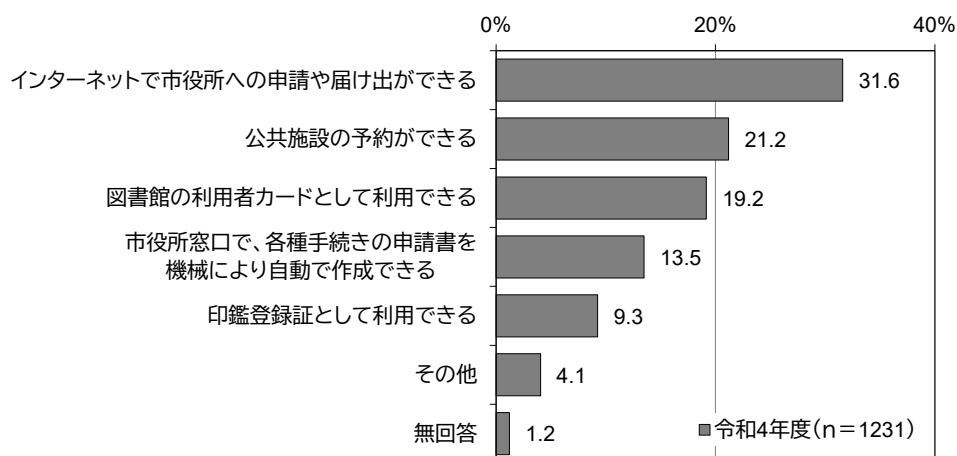
5 デジタル技術の活用について

問6 マイナンバーカードでできると良いこと

あなたは、マイナンバーカードでどのようなことができると良いですか。（1つ選択）

「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」(31.6%)が3割以上で最も高く、次いで「公共施設の予約ができる」(21.2%)、「図書館の利用者カードとして利用できる」(19.2%)が約2割となっています。

属性別に見ると、中学生は「図書館の利用者カードとして利用できる」(27.9%)、「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」(25.1%)が約3割で同程度に高く、高校生は「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」(36.7%)が約4割で最も高くなっています。

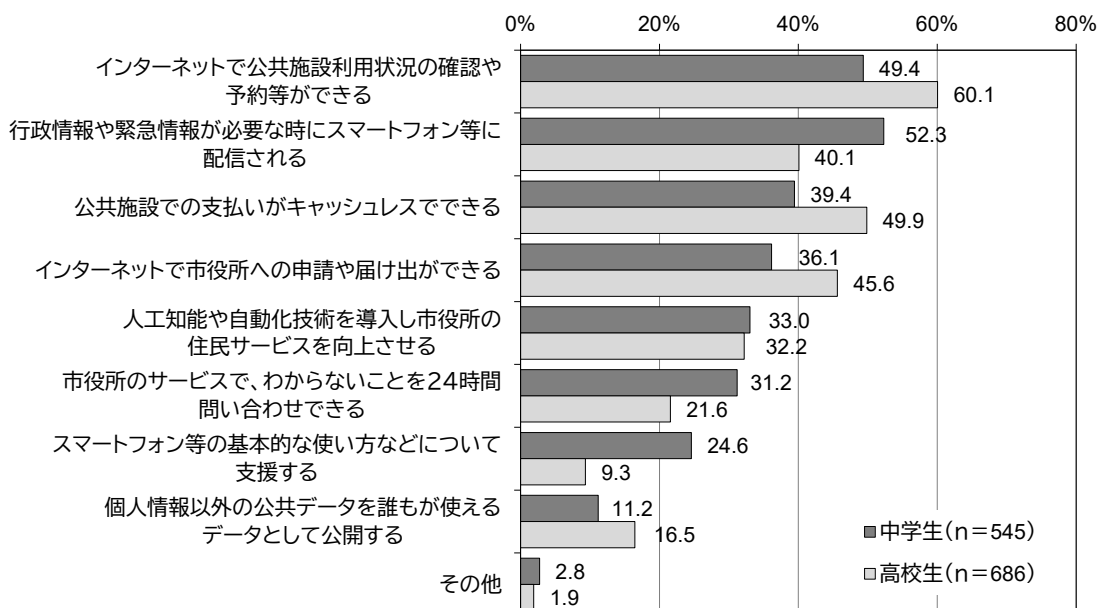
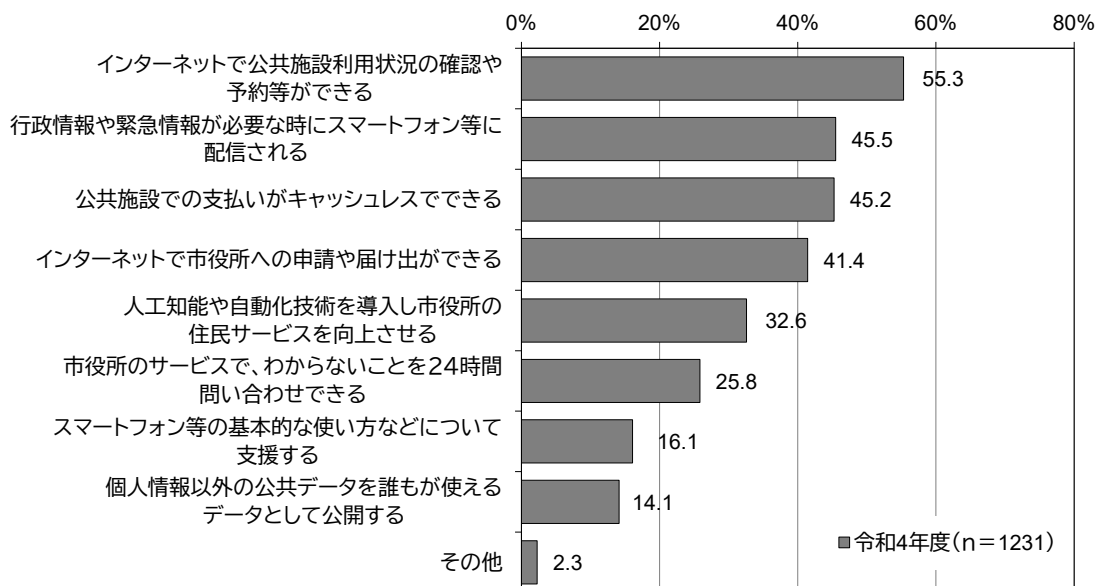


問7 市に力を入れてほしいデジタル化の取り組み

あなたは、渋川市が行うデジタル化の取り組みについて、今後特にどのような取り組みに力を入れて欲しいと思いますか。（3つ選択）

「インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる」(55.3%)が5割以上で最も高く、次いで「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」(45.5%)、「公共施設での支払いがキャッシュレスでできる」(45.2%)、「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」(41.4%)が4割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」(52.3%)が5割以上、高校生は「インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる」(60.1%)が6割以上で最も高くなっています。



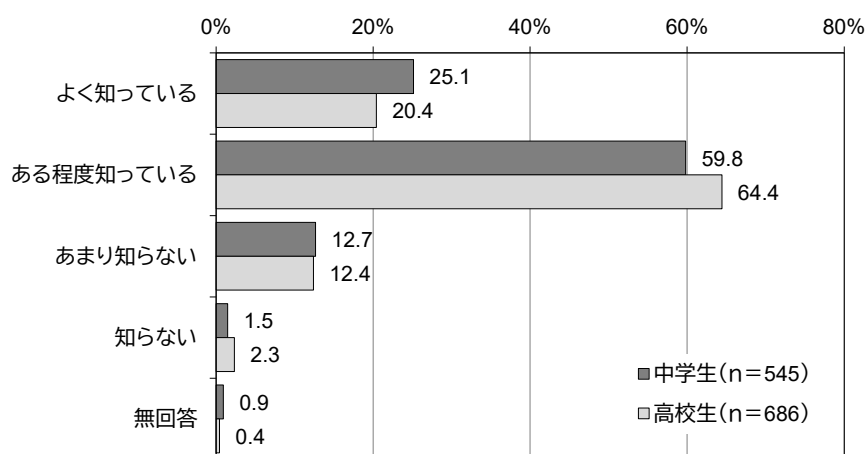
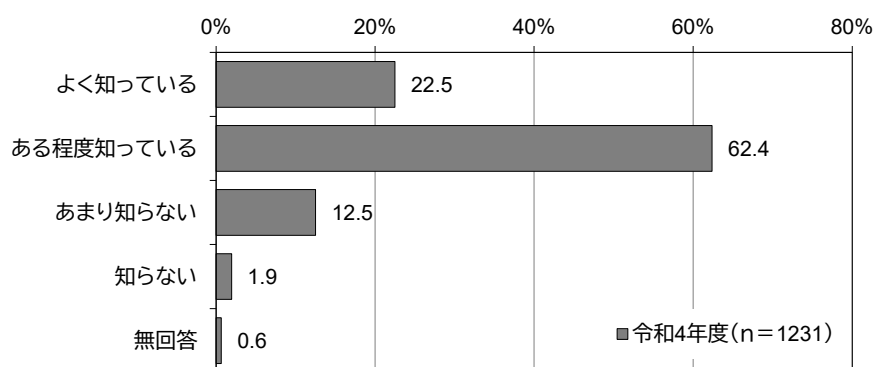
6 食品ロスについて

問8 食品ロス問題の認知度

あなたは、食品ロス（まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品）問題について知っていますか。（1つ選択）

「ある程度知っている」（62.4%）が6割以上で特に高く、次いで高い「よく知っている」（22.5%）との合計値『知っている』（84.9%）は8割以上となっています。一方、「あまり知らない」（12.5%）と「知らない」（1.9%）の合計値『知らない』（14.4%）は1割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。



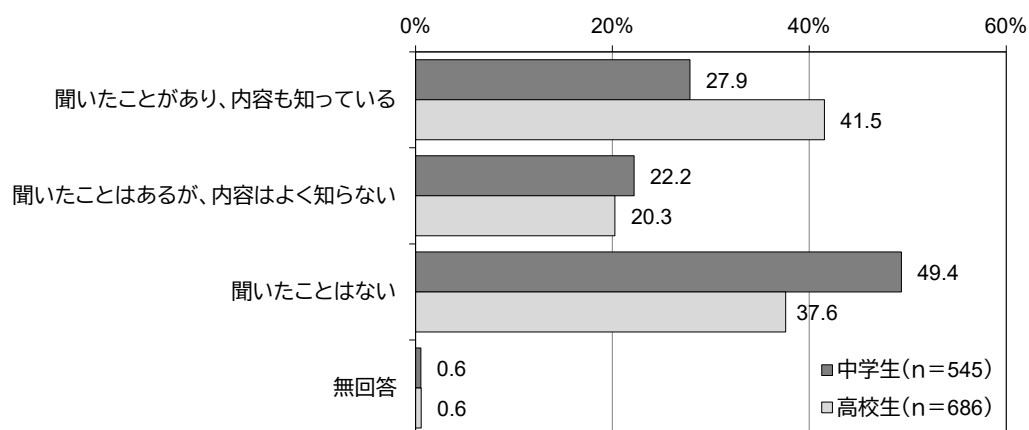
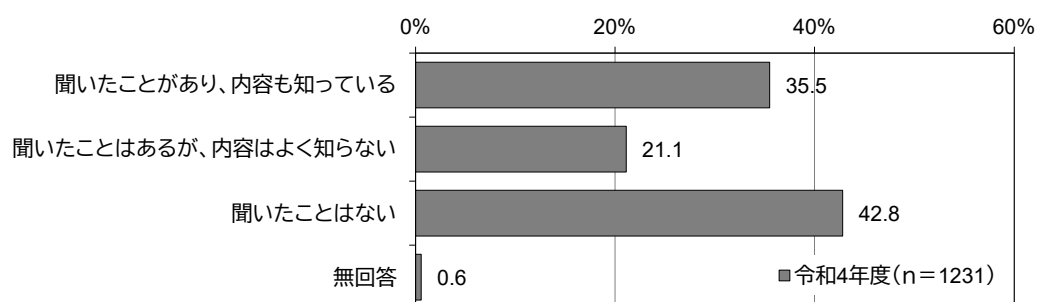
7 ヤングケアラーについて

問9 ヤングケアラーの認知度

あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。
(1つ選択)

「聞いたことはない」(42.8%)が4割以上で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」(35.5%)が3割以上となっています。「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(21.1%)との合計値『聞いたことがある』(56.6%)は約6割となっています。

属性別に見ると、中学生は「聞いたことはない」(49.4%)が約5割、高校生は「聞いたことがあり、内容も知っている」(41.5%)が4割以上で最も高く、合計値『聞いたことがある』は中学生(50.1%)が5割以上、高校生(61.8%)が6割以上となっています。



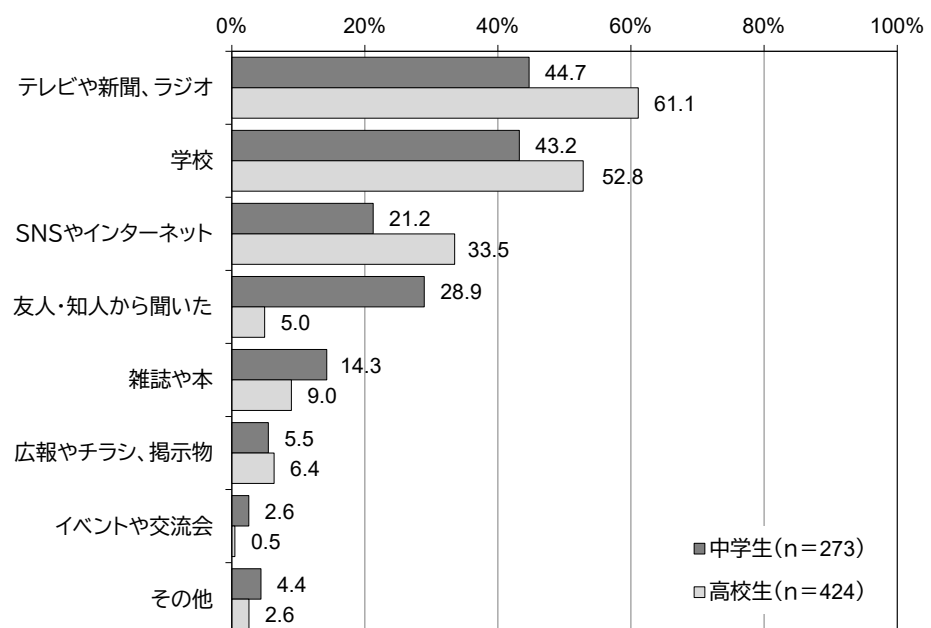
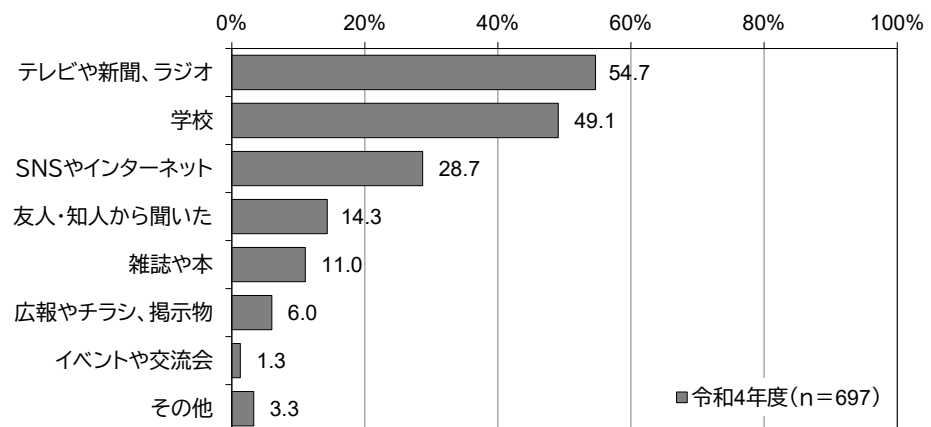
問10 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか

あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(1つ選択・「問9 ヤングケアラーの認知度」で、「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を選択した場合)

「テレビや新聞、ラジオ」(54.7%)が5割以上で最も高く、次いで「学校」(49.1%)が約5割となっています。

属性別に見ると、中学生は「テレビや新聞、ラジオ」(44.7%)、「学校」(43.2%)が4割以上で同程度に高く、高校生は「テレビや新聞、ラジオ」(61.1%)が6割以上で最も高くなっています。

また、上位2項目や「SNSやインターネット」(中学生21.2%、高校生33.5%)は高校生が中学生より高くなっていますが、「友人・知人から聞いた」は中学生(28.9%)が高校生(5.0%)より高くなっています。

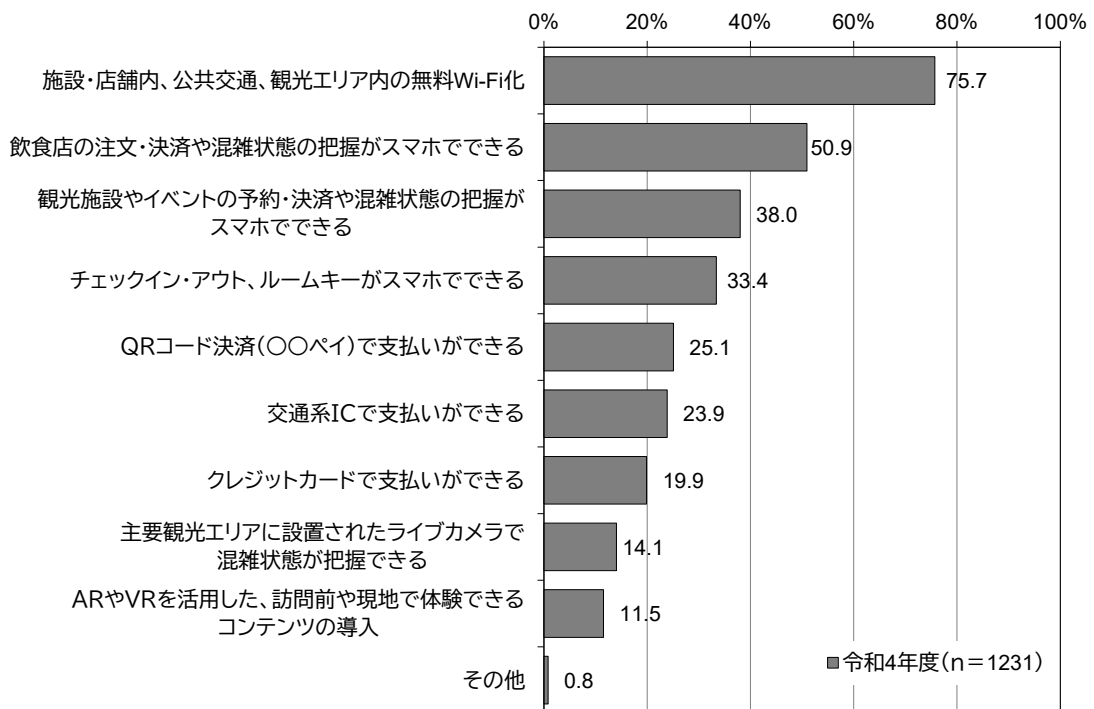


8 観光について

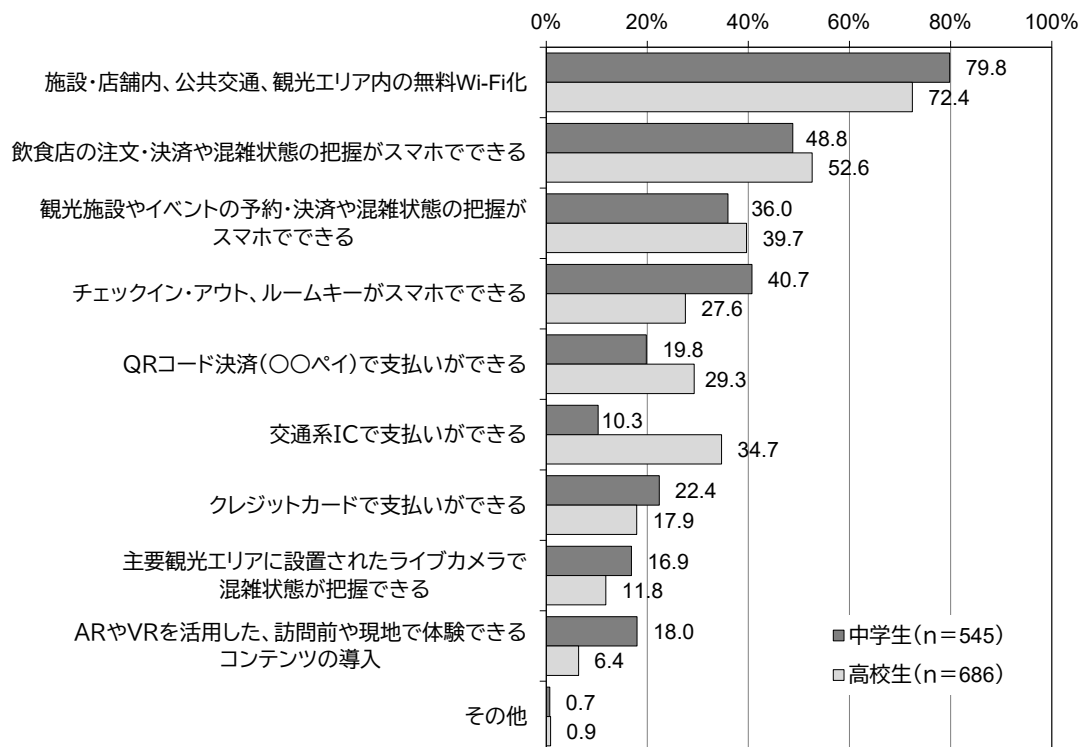
問11 観光地・観光施設に望むデジタル化

あなたは、観光地・観光施設にどのようなデジタル化を望みますか。（3つ選択）

「施設・店舗内、公共交通、観光エリア内の無料Wi-Fi化」（75.7%）が7割以上で最も高く、次いで「飲食店の注文・決済や混雑状態の把握がスマホでできる」（50.9%）が5割以上となっています。



属性別に見ると、上位3項目は、中学生、高校生で大きな差は見られませんが、それら以外では差が見られる項目があり、「チェックイン・アウト、ルームキーがスマホでできる」(中学生 40.7%、高校生 27.6%)、「AR や VR を活用した、訪問前や現地で体験できるコンテンツの導入」(中学生 18.0%、高校生 6.4%) は中学生が高く、「交通系 IC で支払いができる」(中学生 10.3%、高校生 34.7%) は高校生が高くなっています。



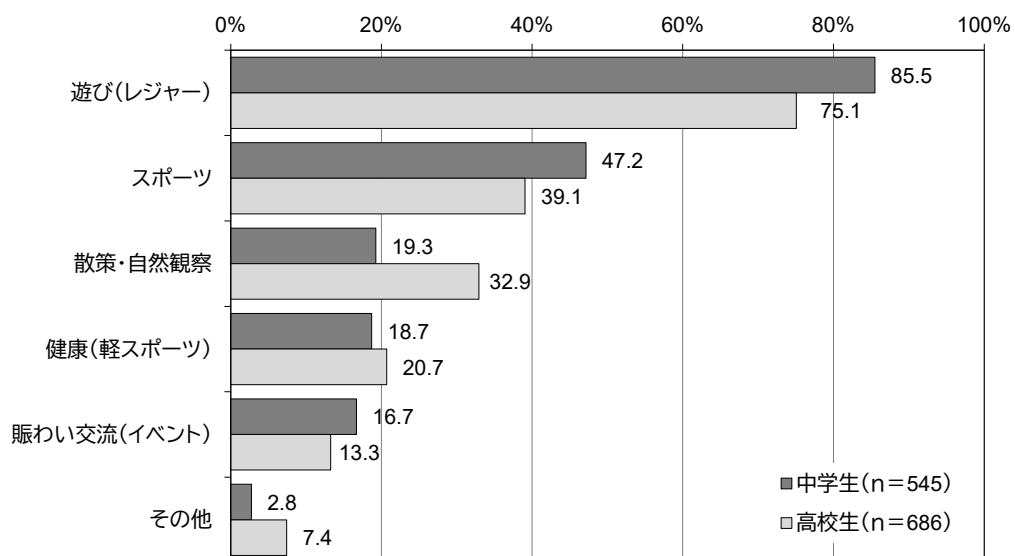
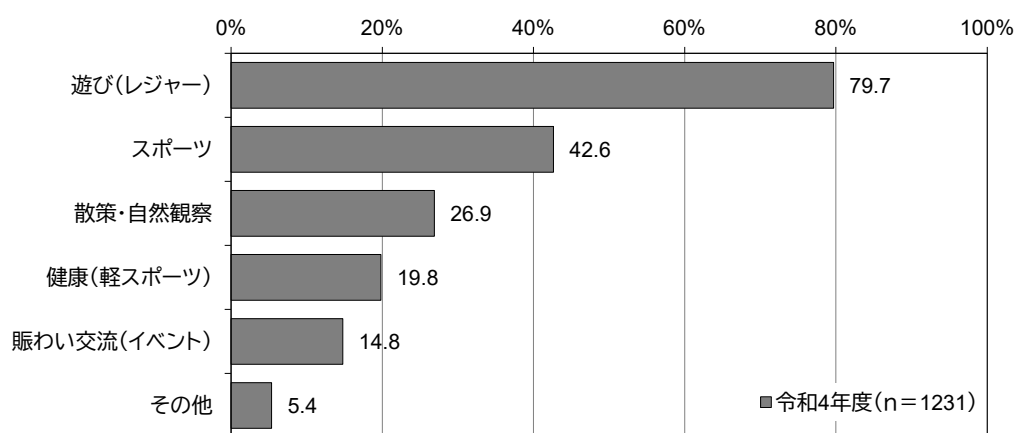
9 都市計画について

問12 公園の主な利用目的

あなたは、主にどのような目的で公園を利用しますか。(2つ選択)

「遊び(レジャー)」(79.7%)が約8割で特に高く、次いで「スポーツ」(42.6%)が4割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られませんが、その中で「散策・自然観察」は中学生(19.3%)が約2割、高校生(32.9%)が3割以上で、高校生が高くなっています。



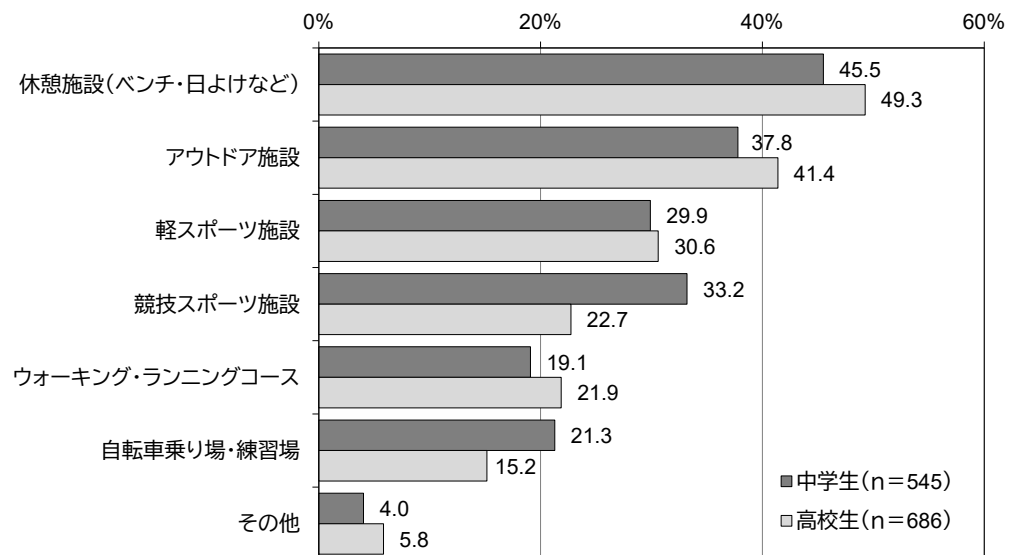
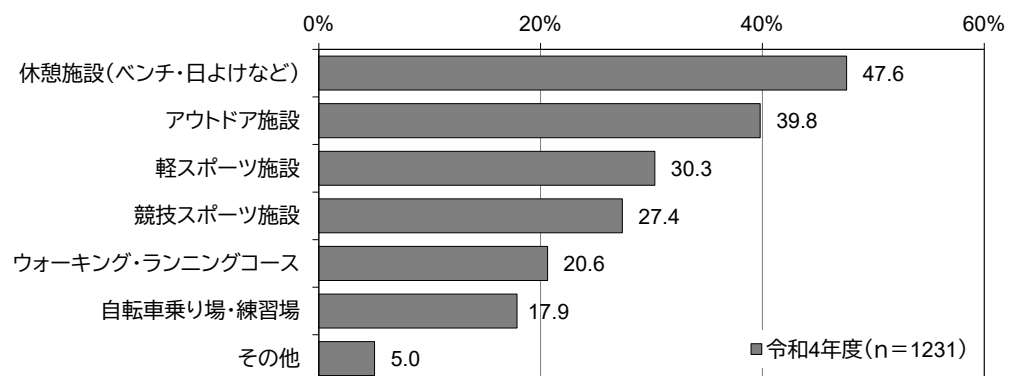
問13 中村緑地公園で利用したい施設

中村緑地公園（河川敷）についてお伺いします。

あなたは、中村緑地公園にどのような施設があれば利用したいですか。（2つ選択）

「休憩施設（ベンチ・日よけなど）」（47.6%）が約5割で最も高く、次いで「アウトドア施設」（39.8%）が約4割となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られませんが、その中で「競技スポーツ施設」は中学生（33.2%）が3割以上、高校生（22.7%）が2割以上で、中学生が高くなっています。

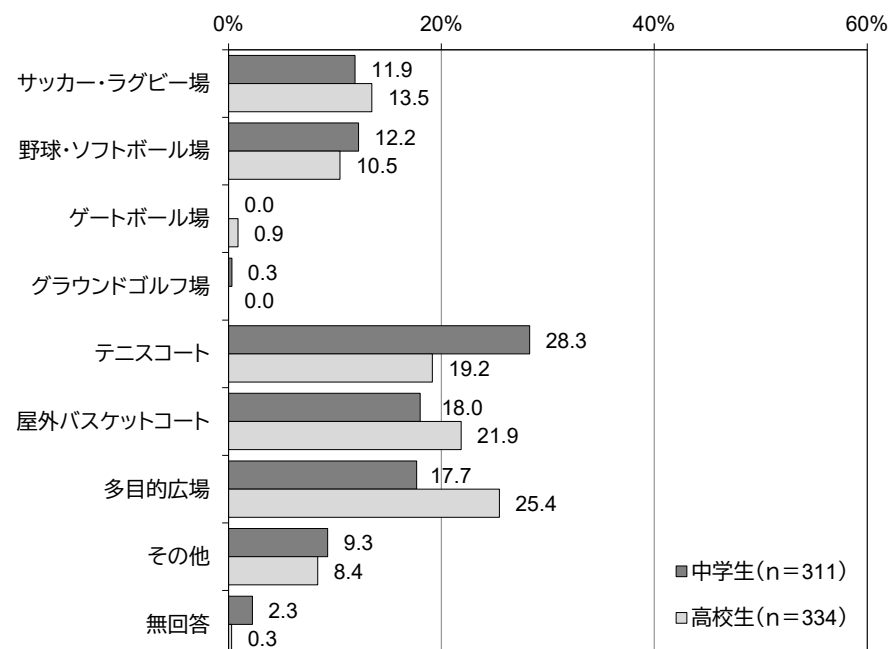
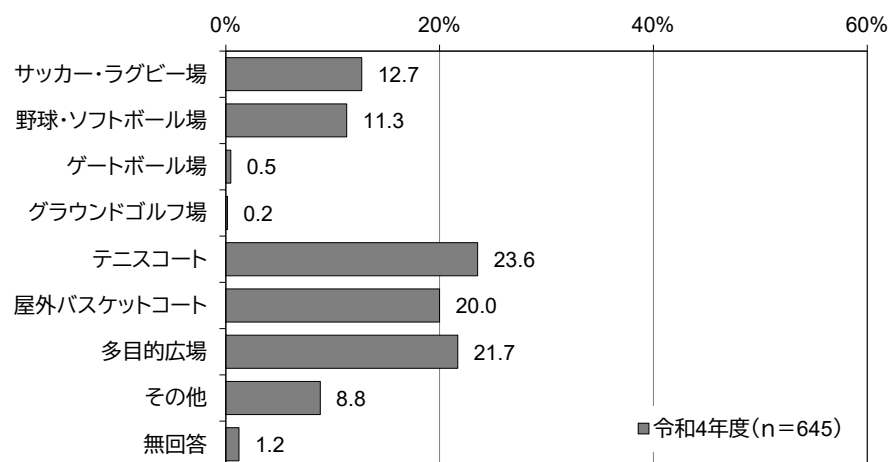


問14 中村緑地公園で利用したいスポーツ施設

あなたは、どのようなスポーツ施設を利用したいですか。(1つ選択・「問13 中村緑地公園で利用したい施設」で「軽スポーツ施設」「競技スポーツ施設」を選択した場合)

「テニスコート」(23.6%)、「多目的広場」(21.7%)、「屋外バスケットコート」(20.0%)が2割以上で同程度に高くなっています。

属性別に見ると、中学生は「テニスコート」(28.3%)が約3割で最も高く、高校生は「多目的広場」(25.4%)、「屋外バスケットコート」(21.9%)が2割以上で同程度に高くなっています。

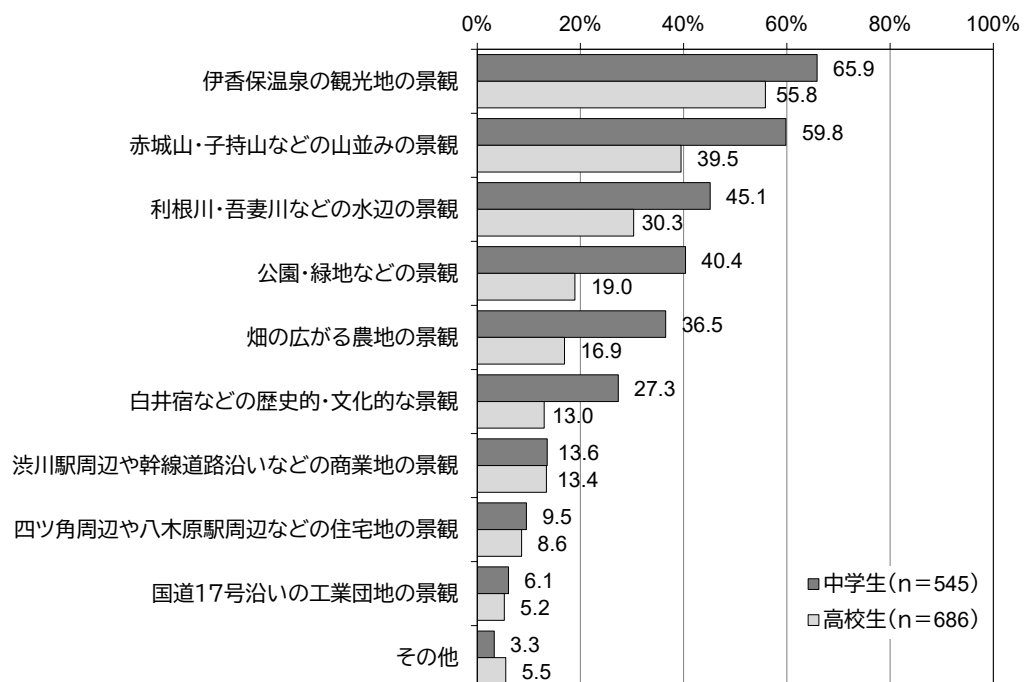
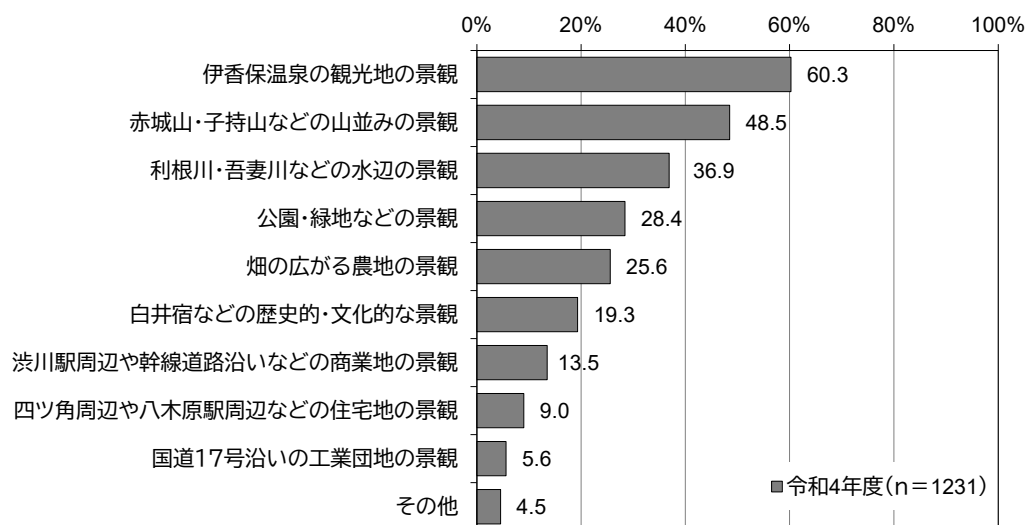


問15 渋川市の好きな景観

あなたは、渋川市のどのような景観が好きですか。(全て選択)

「伊香保温泉の観光地の景観」(60.3%)が6割以上で最も高く、次いで「赤城山・子持山などの山並みの景観」(48.5%)が約5割となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で上位項目は同様となっていますが、いずれも中学生が高校生より高く、その中でも「赤城山・子持山などの山並みの景観」(中学生59.8%、高校生39.5%)、「公園・緑地などの景観」(中学生40.4%、高校生19.0%)、「畑の広がる農地の景観」(中学生36.5%、高校生16.9%)はいずれも中学生が高校生より20ポイント程度高くなっています。

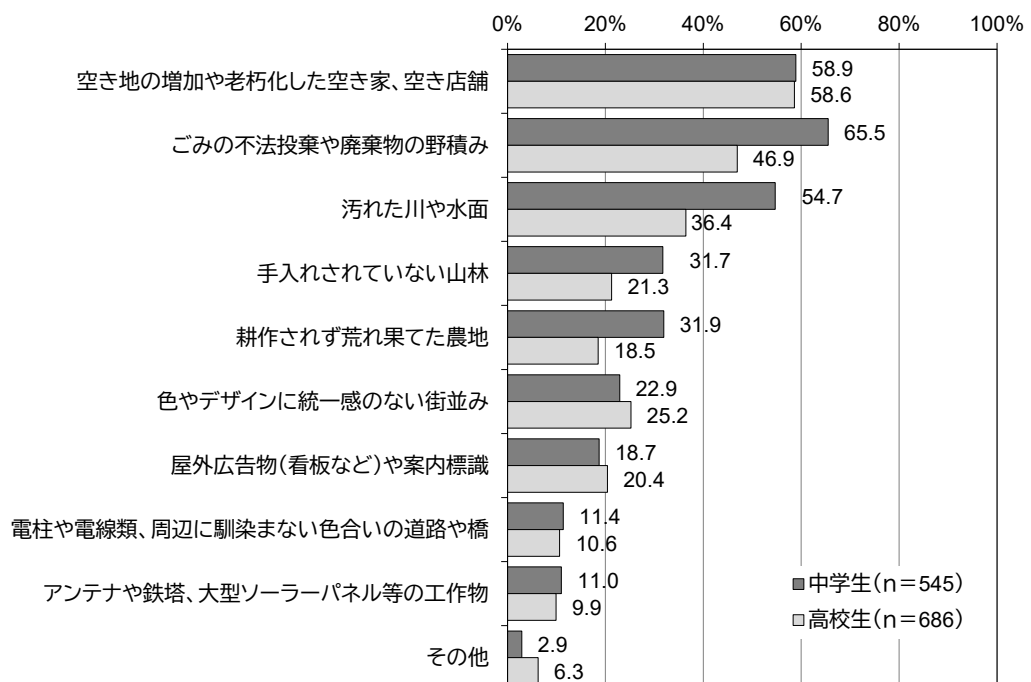
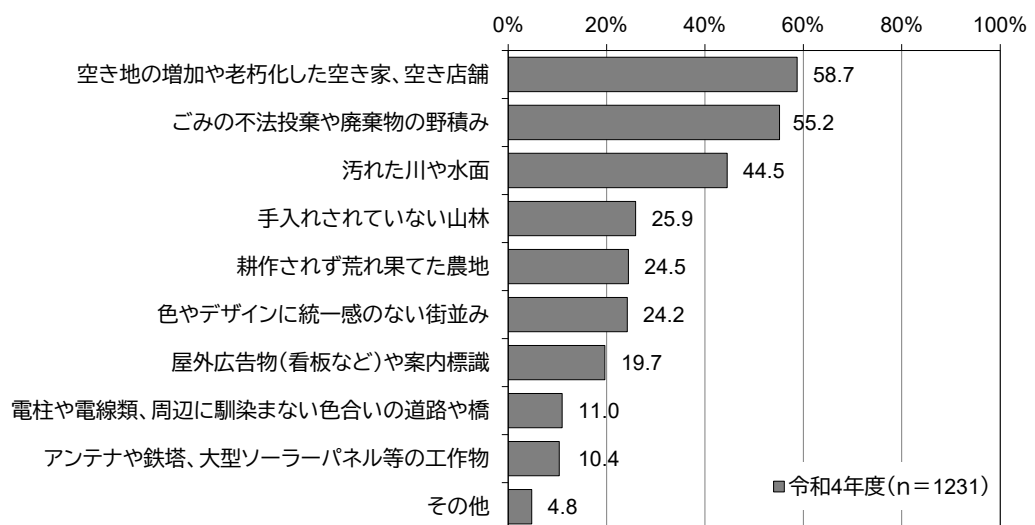


問16 渋川市の景観を損ねていると思うこと

あなたは、どのようなものが渋川市の景観を損ねていると思いますか。(全て選択)

「空き地の増加や老朽化した空き家、空き店舗」(58.7%)、「ごみの不法投棄や廃棄物の野積み」(55.2%)が5割以上で同程度に高く、次いで「汚れた川や水面」(44.5%)が4割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「ごみの不法投棄や廃棄物の野積み」(65.5%)が6割以上、高校生は「空き地の増加や老朽化した空き家、空き店舗」(58.6%)が約6割で最も高く、次いで中学生は「空き地の増加や老朽化した空き家、空き店舗」(58.9%)が約6割、高校生は「ごみの不法投棄や廃棄物の野積み」(46.9%)が約5割となっています。



問17 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

890人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の6分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全1,126件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数(件)
1 安全・安心、暮らし分野	124
2 健康、福祉、スポーツ分野	104
3 産業分野	216
4 都市基盤、自然環境分野	436
5 教育、文化分野	49
6 自治、協働、行財政分野	147
7 その他	50
合計	1,126

【1 安全・安心、暮らし分野】

- ・街灯を増やす、道路を整備するなど。子どもが登下校の時、安心できるようにする。
- ・安心して暮らせるように防犯設備に力を入れたい。
- ・住宅の空き地を掃除し、使えるような場はリフォームし、次の人が幸せに暮らせるような町にしていきたい。
- ・空き地などを整備する。
- ・水道代は県内でも安い方だと思うので、市外の労働者の居住地となるような住みやすさを新たに創出したいと思います。

【2 健康、福祉、スポーツ分野】

- ・子育てがしやすく、みんなが住みやすい市にしたい。医療機関などに力を入れたいです。
- ・高校生まで医療費を無料にする。
- ・子育て、教育の施設の充実化や、費用の負担など、子どもや学生がのびのびと生活できる環境にする。
- ・高齢者が安心できるような老人ホームなどの施設の設置。子ども達が遊べる大型の公園やスポーツ施設、遊園地の建設。
- ・医療関係について力を入れたいです。例えば、医療費がかからず受診できる年齢を上げ、受診しやすくすることで、子ども達が安心して健康に学校生活を送れるようにしたいです。また、病院に行かなくても受診できるような仕組み（デジタル化）をもっと整えて、高齢の方などの健康にもつなげたいです。

【3 産業分野】

- ・大型のショッピングモールをつくる。コンビニをつくる。
- ・大型商業施設の誘致。
- ・大型商業施設の建設など、市内への集客の見込める施設の建設をする。また、観光業や公共交通機関を整備し、より多くの観光客の集客を見込めるようにする。
- ・買い物できる場所、手段をもっと増やして便利にしたい。渋川市の特徴や伝統を活かした観光地をつくりたい。
- ・イベントなどを計画し、月に1回は何かのイベントを行い、市民の方々同士の交流の場をつくる（コロナ対策を徹底しながら）。
- ・渋川市内の飲食店などに無料 Wi-Fi を付けたい。
- ・渋川市には「これ」といったレジャー施設がないから、「グンマー帝国」みたいな面白い名前の大型レジャー施設をつくる。
- ・学生をターゲットにした施設を通学路に設ける。「渋川市」を商標化する。
- ・温泉施設などの市民限定のキャンペーンや観光地の活性化。
- ・若い世帯が楽しめる娯楽施設をつくり、若い世帯が住みたいと思える工夫をしたい。
- ・吉岡町に近い地区では、どちらかといえば市外への通勤も多く感じるので、市内での雇用と都市のベッドタウンとしての性格を維持したいです。

【4 都市基盤、自然環境分野】

- ・よく通る道に横断歩道がないので、そのようなところに横断歩道を設置したい。
- ・障害者や高齢者も住みやすいよう、道路の整備やユニバーサルデザインの導入など。
- ・歩道が日陰になるように、木を植えたり、屋根のような役割を果たすものを取り入れ、夏は涼しく、雨の時は安全に歩けるようにする。
- ・自転車で学校に通うときに道路がボコボコしているので、道路を直していきたい。
- ・渋川市の交通が、電車・バスが30分から1時間おきとなっていて、朝、夜の通学などの際に荷物の多い学生が立たなくてはいけなく、電車内は大変。そのため、高校生のみ利用可能スポットや、荷物預かりをしてほしい。
- ・バスの電子マネー化を進めてほしい。
- ・自然と住宅の両方がある市。
- ・公園などの子どもが遊べる場所を増す。
- ・公園の遊具を増やす。
- ・環境問題、SDGs。
- ・誰が歩いても気持ちよく歩けるように、道にゴミが落ちていないようにしたりして、良い景観にしたいです。
- ・前から道端に落ちているゴミが気になっていたのですが、個人でやるというのは少しやりにくいので、市民でゴミ拾いする日をつくったり、環境をきれいにしやすいような力を入れたいです。
- ・渋川市の景観をさらにきれいにする。

【5 教育、文化分野】

- ・学校や子ども達のためになることをしたい。
- ・制服が選べるようにする。女子はスカート、男子はズボンをなくす。
- ・子ども達の中に少しでもいじめが減るように、何か周りの子のことが分かるようなイベントを開く。
- ・学校などの立地の悪さの改善。
- ・図書館で学生が放課後に本を気軽に借りられるようにイベントを開く。
- ・学習や仕事に使えるスペースを市内にいくつもつくる。
- ・渋川市は高校が多いので、高校生が快適に過ごせるように、自習室や共有スペースなどの施設を増やしたり、防犯のための街灯を多く設置するなどに力を入れたい。
- ・ボランティア情報の学校との共有。
- ・自然環境の保護、伝統文化の継承。
- ・アーティストのライブを増やす。

【6 自治、協働、行財政分野】

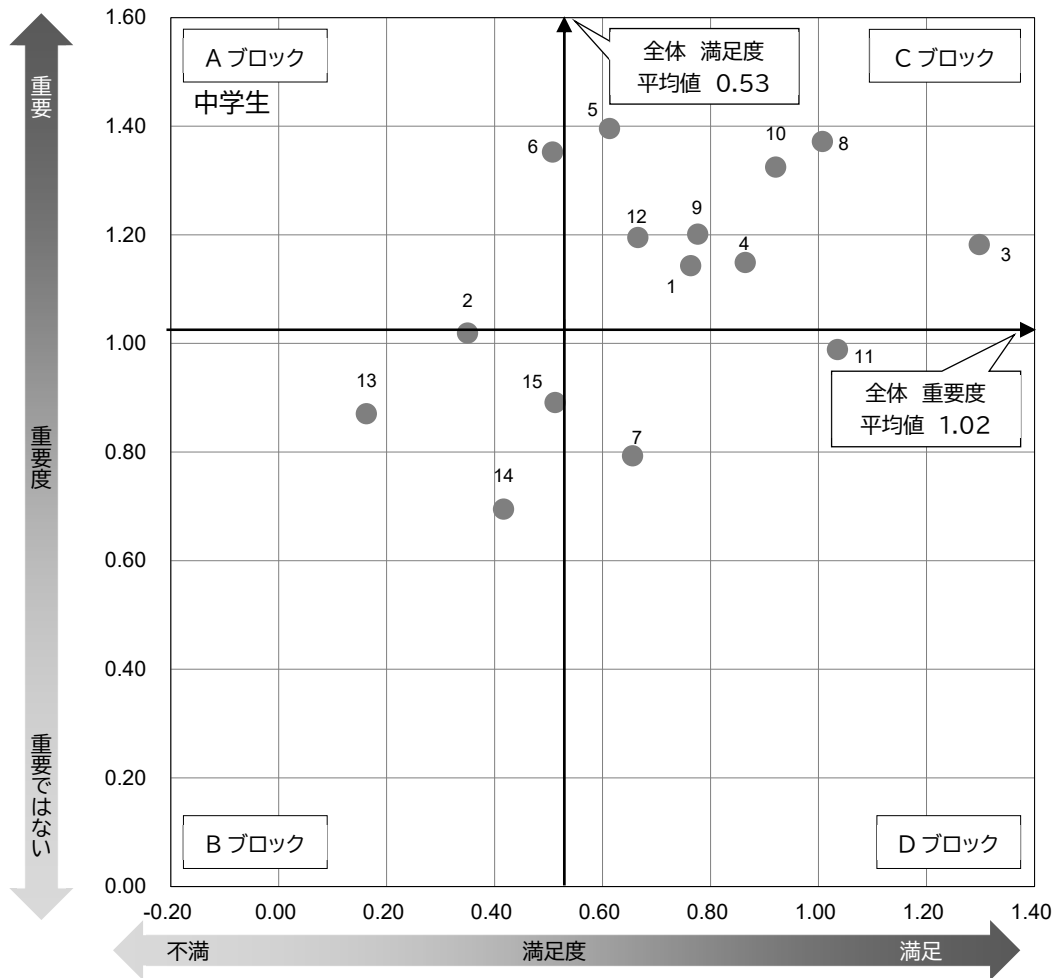
- ・住民の方々全員で支える渋川市にしたい。あいさつは大きな声です。
- ・まず市民にどのようなところがダメでよくないかをアンケートして、そのアンケートで多かったものを実施したり防いだりする。
- ・女性と男性の差別（ジェンダーの考え）を減らしたい。
- ・無料 Wi-Fi 化や LGBT のことなど。
- ・私は市民との関わり合いを大事にし、市民の意見を聞いて地域を改善していきたいです。市のことを一番知っているのが市民なので、市民との関わり合いを大切にしていきたいです。
- ・子どもからお年寄りまでみんなで集まれる場所などをつくり、文化交流に力を入れたいです。
- ・スマホを使用してインターネットを通じて予約したり、支払えたり、情報を得たりなどが、より簡単にどこでもできるようにすること。
- ・困ったことなどを自由に書き込めるようにする（ネットで）。その回答は市役所にポスター貼ったり、ネットに書き込んで、みんなが見られるようにする。
- ・選挙の投票率が低いことが問題になっているので、いつまでも投票所に行って紙に書くスタイルをやっているのは投票率が上がらないと思うので、スマートフォンで投票できるシステムを導入すると思う。技術の進歩で、不正行為が起こらないように厳重に管理することは可能な時代になってきているので、せっかくあるそういった技術をもっと有効的に使うために、選挙の投票の制度の見直しをするべきだと思う。

【7 その他】

- ・現在の状況を維持すること。
- ・みんなが満足できるまちにしていきたいです。
- ・学生が過ごしやすい市にする。

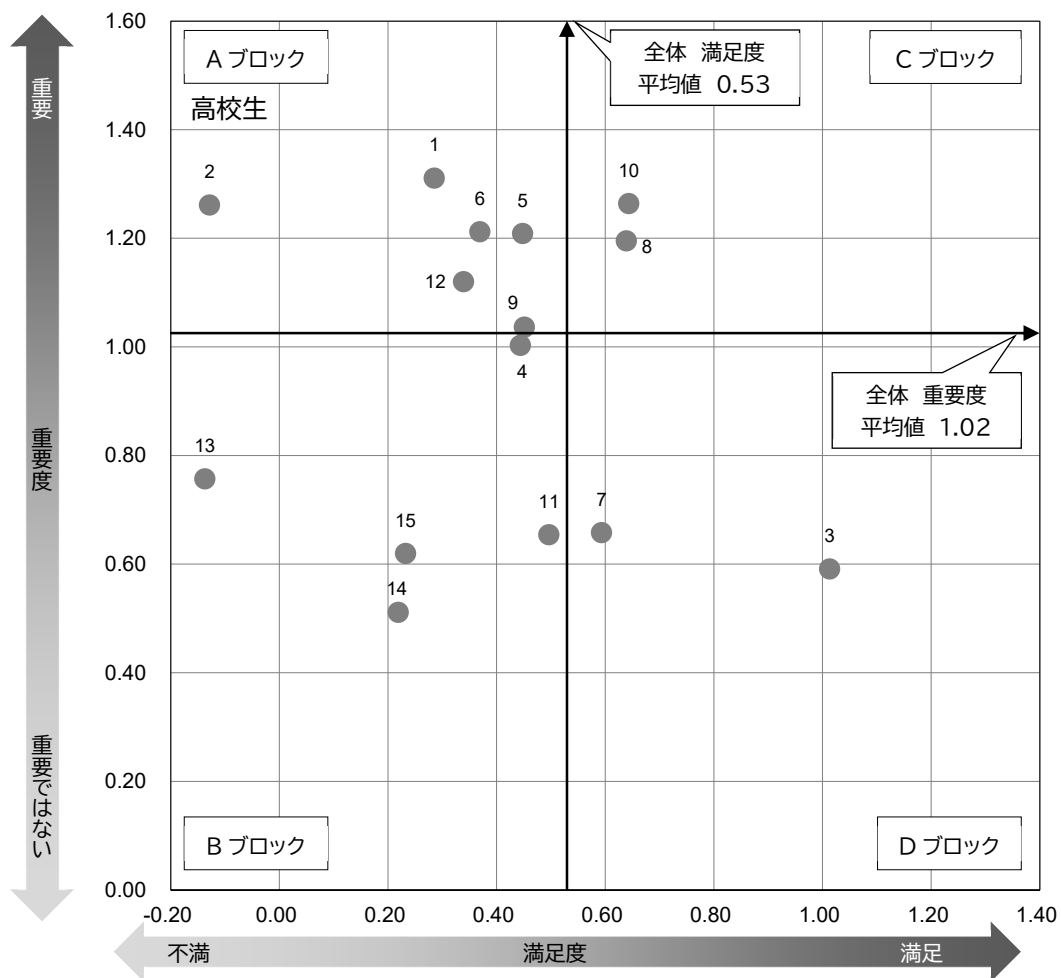
資料

中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）



中学生	満足度平均値 0.70	重要度平均値 1.10
-----	-------------	-------------

1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	10 学校の教育や施設が充実している
3 森林や河川などの自然環境が豊かである	11 地域の祭など伝統文化が豊かである
4 市街地が整備され、快適に暮らせる	12 日々の買い物が便利である
5 災害などに備える防災機能が整備されている	13 観光地やレジャー施設が充実している
6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている	14 地域のボランティア団体などが充実している
7 身近な公園や広場が整備されている	15 市からの情報が充実している
8 病院・診療所などの医療サービスが充実している	



高校生	満足度平均値 0.39	重要度平均値 0.96
-----	-------------	-------------

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

令和4年度 中学生・高校生意識調査

中学生・高校生意識調査ご協力をお願い

皆さん、こんにちは。

市では、皆さんが住みやすいまちを目指し、様々な取組を行っています。

そこで、将来のまちづくりの主役となる中学生及び高校生の皆さんに、まちづくりについての意見や希望をお伺いし、これからのまちづくりにいかすため、調査を実施します。

なお、本調査の結果につきましては、ホームページ等で公表する予定です。

皆さんが普段考えていることをお答えください。よろしく願いいたします。

令和4年5月

渋川市長 高木 勉

ご記入に当たって

- 1 回答は、次のとおり行ってください。
 - **選択肢の中から、当てはまる選択肢の番号に○印をつけてください。**
 - ○印の数は、質問ごとに「3つ選んで○」「当てはまるもの全てに○」などの指定に合わせてください。
 - 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- 2 回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、回答いただいた方が特定されることはありません。

【お問合せ先】 渋川市 総合政策部 政策創造課 企画戦略・共生社会推進係
電話：0279-22-2396 FAX：0279-24-6541
E-mail:hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

市の現状の評価についてお伺いします。

【問1】あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。次の1～15の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、**1つずつ選んで**○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
(例)	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	森林や河川などの自然環境が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	市街地が整備され、快適に暮らせる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	災害などに備える防災機能が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	安心して暮らせる防犯体制が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	身近な公園や広場が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	病院・診療所などの医療サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	学校の教育や施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	地域の祭など伝統文化が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	日々の買い物が便利である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	観光地やレジャー施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	地域のボランティア団体などが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	市からの情報が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

デジタル技術の活用についてお伺いします。

【問6】あなたは、マイナンバーカードでどのようなことができると良いですか。1つ選んで○をつけてください。

1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる
2. 印鑑登録証として利用できる
3. 図書館の利用者カードとして利用できる
4. 公共施設の予約ができる
5. 市役所窓口で、各種手続きの申請書を機械により自動で作成できる
6. その他 ()

【問7】あなたは、浜川市が行うデジタル化の取り組みについて、今後特にどのような取り組みに力を入れて欲しいと思いますか。3つ選んで○をつけてください。

1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる
2. 公共施設での支払いがキャッシュレスでできる
3. インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる
4. 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される
5. 市役所のサービスで、わからないことを24時間問い合わせできる
6. 個人情報以外の公共データを誰もが使えるデータとして公開する
7. 人工知能や自動化技術を導入し市役所の住民サービスを向上させる
8. スマートフォン等の基本的な使い方などについて支援する
9. その他 ()

食品ロスについてお伺いします。

【問8】あなたは、食品ロス（まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品）問題について知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

都市計画についてお伺いします。

【問12】あなたは、主にどのような目的で公園を利用しますか。2つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 散策・自然観察 | 4. スポーツ |
| 2. 遊び（レジャー） | 5. 賑わい交流（イベント） |
| 3. 健康（軽スポーツ） | 6. その他（ ） |

【問13】中村緑地公園（河川敷）についてお伺いします。

あなたは、中村緑地公園にどのような施設があれば利用したいですか。2つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. アウトドア施設 | 5. 休憩施設（ベンチ・日よけなど） |
| 2. ウォーキング・ランニングコース | 6. 自転車乗り場・練習場 |
| 3. 軽スポーツ施設 | 7. その他（ ） |
| 4. 競技スポーツ施設 | |

【問14】前問【問13】で、選択肢3又は4を選んだ人にお伺いします。

あなたは、どのようなスポーツ施設を利用したいですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. サッカー・ラグビー場 | 5. テニスコート |
| 2. 野球・ソフトボール場 | 6. 屋外バスケットコート |
| 3. ゲートボール場 | 7. 多目的広場 |
| 4. グラウンドゴルフ場 | 8. その他（ ） |

【問15】あなたは、渋川市のどのような景観が好きですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 赤城山・子持山などの山並みの景観 |
| 2. 利根川・吾妻川などの水辺の景観 |
| 3. 畑の広がる農地の景観 |
| 4. 渋川駅周辺や幹線道路沿いなどの商業地の景観 |
| 5. 四ツ角周辺や八木原駅周辺などの住宅地の景観 |
| 6. 伊香保温泉の観光地の景観 |
| 7. 白井宿などの歴史的・文化的な景観 |
| 8. 公園・緑地などの景観 |
| 9. 国道17号沿いの工業団地の景観 |
| 10. その他（ ） |

